

昭和7年1月9日

在上海村井總領事より
犬養外務大臣宛(電報)

上海における桜田門事件の検査状況について

付記 一月九日警視廳通報および一月上旬發在上海

村井總領事より犬養外務大臣宛電報摘錄

「桜田門外大逆事件」

本省 1月9日後着 上海 1月9日後發

第一三號(至急)

昨八日夜當館警察署長宛警視廳刑事部長ヨリノ來電及赤城事務官ニ對スル警保局長來電ニ依レハ桜田門外ニ於ケル今同ノ不祥事件犯人ハ本籍京城府新錦町一一八木下昌藏又ハ淺山昌一コト人夫李奉昌當三十二年ニシテ昨年中上海閩江路蓄音(器)商榮昌公司ニ勤メツツアリタル處十二月十二日豫テ知合ノ間柄ナル佛租界西門路西門裡七號白貞善ナル者ト某料亭ニ於テ本件ニ付打合ヲナシ白ハ李ニ對シ銀三百弗ヲ與ヘ更ニ同シク十七日爆彈一箇ヲ與ヘ李ハ同日水川丸ニ

テ上海出發神戸發大阪ヲ經テ廿二日着京其後白ハ李ノ請求ニ依リ正金銀行ヲ經テ金百圓ヲ送金セル趣ニシテ右白貞善ハ丈五尺五寸位顔丸肥リタル方頭髮五分刈体格普通服裝普通支那服時ニ洋服ヲ着シ當地韓國假政府總務ト稱スル鮮人ナリトアリ右ニ依リ直ニ關係方面ノ検査ニ着手セルカ其狀況次ノ通ナリ

一、李奉昌ノ當地ニ於ケル行動

自稱本籍兵庫縣城崎郡三江村字下宿

現住所市内斐偏路二八八番地木下昌藏當三十一年

右ハ日本人ナリト稱シ右肩書ニ依リ客年九月當地閩江路蓄音器商榮昌公司ニ雇ハレ店員兼外交員トシテ勤メツツアリ其間容疑日本人住所不定_(鍛カ)鐵治職大仲親繼

當二十六年

ト屢々吳淞路一四六八下宿家蓬萊家ニ於テ會合セル形跡アリ(大仲ハ當地青年同志會ニ關係シツツアリシカ十一月廿七日保護送還セリ同人ハ目下東京在住中ニ付警視廳ニ手配濟ミニ十二月十七日當地發郵船水川丸ニテ出發セルカ乘船

ニ際シテハ原籍兵庫縣城崎郡三江村字下宿住所上海閩江路一一七號榮昌公司商人木下昌藏(三十一歳)トシテ登録三等船客トシテ神戶ニ向ケ出發セシモノナリ
其後十二月二十三日東京淺草松清町三尾張屋木下政造ヨリ電報請求ニ依リ十二月二十八日年齢二十七才位ノ男白貞善ノ名ヲ以テ右木下政造宛金百圓ヲ請求拂ニテ送金セリ
三、白貞善ノ正体

木下政造カ本事件ニ付協議シタリト謂フ白貞善ハ其人相年齡住所其他四圍ノ狀勢ヨリシテ當地目下韓國假政府財務部長韓國_(韓カ)強民團長丙寅義勇隊員ゲキシュン會員金九ニ該當スル者ト思料セラルニ付直ニ其所在検査ニ着手スルト共ニ當地佛國總領事ト其逮捕引渡方ニ關シ交渉ノ結果其承諾ヲ得タルヲ以テ其具体的方法ニ付目下協議中ナリ
金九ノ最近ノ動靜次ノ如シ

佛租界西門路西門里七號
字白凡事金九
當五十七年

右人相顏圓キ方丈ヶ五尺五寸位五分刈常ニ支那服ヲ着ス客年五月十八日來滬シ二十五日離滬セル國民革命軍陸軍騎兵

(付記)
一、事件ノ概要

昭和七年一月九日警視廳通報及同年一月上旬在上海村井總領事發犬養外務大臣宛電報摘錄

櫻田門外大逆事件

昭和七年一月八日陸軍始觀兵式ヨリ御還幸ノ鹵簿櫻田門外ニ差懸レル際拜觀者中ヨリ突如爆彈ヲ投擲セル者アリ右ハ炸裂セルモ幸ニシテ供奉車ノ一部及御警衛者ノ騎馬ヲ僅ニ

傷ケタルノミニシテ

陛下ニハ無事還御アラセラレ大逆犯人ハ直ニ逮捕セラレタ
ルガ右ハ本籍朝鮮京城府新錦町一一八李奉昌ナル者ニシテ
數年前ヨリ日本内地ヲ流浪ノ末昭和六年中ヨリ上海ニ居住
同年末本邦ニ再渡來シ竊ニ機ヲ窺ヒ居タル者ニシテ取調ノ
結果同人ハ在上海韓國假政府財務部長、大韓僑民團長金九
ノ使嗾ニ基キ大逆行動ヲ敢行セルモノナルコト判明セリ

三、犯人ト不逞團トノ關係

大逆犯人李奉昌ハ鄉里ニ於テ普通學校卒業後暫ク朝鮮龍山
ニ於テ商店員又ハ龍山驛々夫タリシコトアリ次デ内地ニ渡
來シ名古屋、東京、大阪等ヲ流轉シ國語ニ巧ミナル關係上
各地ノ商店等ニ傭ハレ居タルガ昭和六年六月更ニ上海ニ渡
航シ同ジク同地日本人商店員トシテ働キ居レル中同地朝鮮
人僑民^(國カ)ニ出入スルニ至リ偶々僑民團長タル金九ト相知ル
ニ至リ屢々同人ト會見ヲ重ネ居レル中次第二金九ノ抱懷セ
ル独立思想ニ感染シ遂ニ其ノ教唆ニ依リ前記ノ兇惡ナル行
動ニ出ヅルニ至レルモノナルガ同人等ハ上海佛租界ナル僑
民團事務所及料亭、旅館等ニ於テ數次密議ヲ凝ラセル上昭
和六年十一月十三日正式ニ韓國愛國團ニ加盟シ今回ノ舉ニ

出ヅル旨ノ宣誓ヲ爲シ十二月十七日金九ヨリ手榴弾二個及
銀二百弗ノ手交ヲ受ケ同日出帆ノ水川丸ニテ木下昌藏ト偽
名シ巧ニ警戒ノ目ヲ免レ上京セル者ナリ
尙右爆弾ノ出所ニ就キ探査スル所ニ依レバ金九ハ昭和五年
末手榴弾ヲ入手セルヲ以テ之ヲ使用シテ何等ガ不逞行動ヲ
敢行セントシ丙寅義勇隊員某ニ謀リタルモ獨立運動上效果
少ナキヲ理由トシテ拒否セラレタル爲常ニ適當ナル人物ヲ
物色中偶々李奉昌ヲ知リ之ヲ說得セルモノナルガ如シ

三、主謀者及共犯者ノ搜査狀況

以上ノ如ク本件ノ原動力ガ上海韓國臨時政府ニ在ルコト判
明セルヲ以テ我上海總領事館ニ於テハ急遽首魁金九（事件
後大審院ニ於テ起訴セラル）及共犯者ト認メラル趙素昂、
金徹等ノ臨時政府幹部逮捕方ノ手配ヲ爲スニ決シタルモ何
分ニモ彼等ハ總テ同地佛國租界ニ根據ヲ有スル關係上搜査
容易ナラザルニ付在上海村井總領事ハ九日先づ佛國總領事
「ケクラン」ト會見佛國租界在住ノ犯人逮捕引渡方ニ就キ
諒解ヲ求メ其ノ承諾ヲ得タルガ同日更ニ赤木事務官及杉村
警部ヲシテ同租界政治部長「サラレイ」ト會談同租界警察
當局ノ充分ナル協力ヲ求メ搜查方針ニ關スル打合ヲ爲サシ

メ不取敢金九ノ居所ヲ突止ムルコトニ決シ搜査ヲ進メタル
ガ本事件突發後該爆弾ノ出所ガ上海ナリトノ電報上海支那
紙ニ掲載セラレタル關係上彼等ハ當然搜査ノ手ガ其ノ身邊
ニ及ブヲ豫知シ巧ミニ所在ヲ晦マシタル爲李奉昌ノ犯罪取
調ノ爲東京ヨリ出張中ノ龜山檢事、警視廳警部及在上海各
情報機關ト協力捜査ニ盡シタルモ的確ナル所在ヲ突キ止ム
ルコト能ハズ

494 昭和7年1月11日 在上海村井總領事より
犬養外務大臣宛（電報）
桜田門事件に關し仏國租界警察當局との捜査
協力について

上海 1月11日後発
本省 1月11日後着

第一八號

往電第一三號ニ關シ

金九ノ所在搜査逮捕ニ關シテハ當地情報各機關協同極力内
偵ヲ進行シツツアルカ一面本官ト佛國總領事「ケクラン」
トノ間ノ諒解ニ基キ佛租界警察當局ノ充分ナル努力ヲ得ル

495 昭和7年1月13日 在上海村井總領事より
犬養外務大臣宛
桜田門事件に關し始末書進達について

（接受日不明）

昭和七年一月十三日

在上海

總領事 村井 倉松 (印)

外務大臣 犬養 肇殿

總領事 村井 倉松 (印)

外務大臣 犬養 肇殿

櫻田門外不敬事件ニ關シ始末書進達ノ件

本件ニ關シ赤木事務官及花里署長ヨリ別紙^(赤木花里分省略)始末書ヲ徵シ本官ノ分ト共ニ茲ニ進達スルニ付可然御取計相成度此段申進
(欄外記入)
ス

櫻田門外不敬事件ニ關シ始末書進達ノ件

ス

(別紙)

始末書

今次不敬事件ニ關シ犯人李奉昌ハ不逞ノ目的ヲ抱キ當地佛
界韓國臨時政府財務部長タル白貞善コト金九ヨリ爆彈二個
及金三百弗ヲ得タル上木下昌藏ト詐稱シ客月十七日當地ヨ
リ郵船水川丸ニ搭乗シ内地ニ赴キタル者ナルカ當館ニ於テ
事前ニ之ヲ探知シ機宜ノ處置ヲ執ラサリシコトハ本官監督
不行届ノ致ス所ニシテ恐懼ノ至リニ堪ヘス茲ニ謹慎ノ意ヲ
致スト共ニ右始末上申候也

昭和七年一月十三日

(欄外記入)

始末書接収シ居ル旨ヲ河原田次官ニ話シタルニ姑ク他ノ振合

ヲモ見タル上ニ處理スルコトトシ差支ナカルベシトノ意見ニ
テ差当リ何等措置ヲ執ラサルコト、ス (永井次官サイン)496 昭和7年5月9日 在上海村井總領事より
芳沢外務大臣宛

上海新公園における爆弾事件に關し仏國租界

搜索狀況について

機密第五九二號 (5月20日接受)

昭和七年五月九日

在上海

外務大臣 芳澤 謙吉殿

總領事 村井 倉松 (印)

櫻田門外不祥事件犯人連類者金九捜査ニ關スル件

本件ニ關シ赤木事務官及花里署長ヨリ別紙^(赤木花里分省略)始末書ヲ徵シ本官ノ分ト共ニ茲ニ進達スルニ付可然御取計相成度此段申進
(欄外記入)
ス本件ニ關シ赤木事務官及花里署長ヨリ別紙^(赤木花里分省略)始末書ヲ徵シ本

ス

(別紙)

始末書

今次不敬事件ニ關シ犯人李奉昌ハ不逞ノ目的ヲ抱キ當地佛
界韓國臨時政府財務部長タル白貞善コト金九ヨリ爆彈二個
及金三百弗ヲ得タル上木下昌藏ト詐稱シ客月十七日當地ヨ
リ郵船水川丸ニ搭乗シ内地ニ赴キタル者ナルカ當館ニ於テ
事前ニ之ヲ探知シ機宜ノ處置ヲ執ラサリシコトハ本官監督
不行届ノ致ス所ニシテ恐懼ノ至リニ堪ヘス茲ニ謹慎ノ意ヲ
致スト共ニ右始末上申候也

昭和七年一月十三日

(欄外記入)

始末書接収シ居ル旨ヲ河原田次官ニ話シタルニ姑ク他ノ振合

ヲモ見タル上ニ處理スルコトトシ差支ナカルベシトノ意見ニ
テ差当リ何等措置ヲ執ラサルコト、ス (永井次官サイン)496 昭和7年5月9日 在上海村井總領事より
芳沢外務大臣宛

上海新公園における爆弾事件に關し仏國租界

搜索狀況について

機密第五九二號 (5月20日接受)

昭和七年五月九日

在上海

外務大臣 芳澤 謙吉殿

總領事 村井 倉松 (印)

櫻田門外不祥事件犯人連類者金九捜査ニ關スル件

既報虹口公園ニ於ケル爆弾投擲事件ニ關シ四月三十日未明
佛租界ニ於ケル手入ノ結果逮捕引渡ヲ受ケタル嫌疑者鮮人
十一名中獨立黨執行委員金澈^(赤木)ノ甥ニシテ之ト同居セル金德
根(當十八年)ヲ嚴重訊問ノ結果金九ハ約一ヶ月前ヨリ佛租
界環龍路(Route Vallon)Passage 113ノ十九號露西亞人
Mrs. Astahoff 方裏^(隈カ)二階ノ一室ニ嚴恒燃ト共ニ起居シ居リ
本名ハ時々郵便物新聞紙等ヲ金九ニ届ケル役割ヲ勤メ屢々
同所ニ出入セル旨自供セリ。而シテ尙ホ其ノ陳述スル處ニ
依レハ、櫻田門外不祥事件發生以來金九ハ其ノ居所ヲ陰匿^(隈カ)
スルコトニ極力腐心シ臨時政府幹部ト雖モ之ヲ知ル者無
ク、只安恭根、嚴恒燃、金澈^(赤木)ノ三名之ヲ知ルノミナリシヲ
以テ、金澈^(赤木)ハ金德根ニ對シ絶對ニ金九ノ居所ヲ口外スヘ
ラサル旨嚴達シ居レリト云フ。之等事情ヨリ察スルニ、金
德根ノ被捕以來既ニ五日ヲ經タル今日尙ホ同所ニ留マルコ
ト万無キヤニ思料セラルモ一面同所ハ何レノ情報ニモ現
ハレサル場所ニシテ、彼等トシテハ却ツテ安全地帶トシテ
留マリ居ルヤモ計ラレス、且ツ假令留マリ居ラストスルモ
其ノ居留中ノ模様ヲ明ニスルヲ得ヘキ次第ナルヲ以テ直ニ
之カ手入ヲ決行スルコトニ決シ、憲兵隊長トモ協議ノ結果

右報告ス

本信寫送附先 在華公使 北平 南京

朝鮮總督府政務總監

其ノ居留中ノ模様ヲ明ニスルヲ得ヘキ次第ナルヲ以テ直ニ
之カ手入ヲ決行スルコトニ決シ、憲兵隊長トモ協議ノ結果

上海仏國租界における反日朝鮮人の捜索に關

し仏國政府へ協力申入れ方要請

付記 五月(日付不明)、外務省作成

「上海鮮人獨立運動者ニ對スル對策ニ關スル件」

内務省外警第六三號

(接受日不明)

昭和七年五月二十日

内務次官(印)

外務次官殿

在上海不逞朝鮮人捜査ニ關シ佛國政府ノ協力申入

方ノ件

(欄外記入)
 上海佛租界ニ居住セル櫻田門外不祥事件ノ主謀者タル不逞朝鮮人一味ニ對シテハ同地帝國總領事館及赤木内務事務官等ニ於テ極力其ノ捜査内偵ニ努力中ノ趣ナル處本目的達成ノ爲メニハ同地佛租界警察當局ノ積極的援助ヲ必要ト認メラルニ就テハ右ニ關シ特ニ貴省ヨリ佛國政府ニ對シ協力申入方御考慮相成様致度此段得貴意候也

(付記)

昭和七年五月

上海鮮人獨立運動者ニ對スル對策ニ關スル件

一、上海ニ於ケル鮮人獨立運動者(大韓民國臨時政府、大韓民國臨時議政院、大韓僑民團、韓國獨立黨、上海韓人青年黨、興士團、丙寅義勇隊等ヲ主トシ約二〇箇ノ團体アリ)ニ對シテハ從來我總領事館ニ於テ銳意之力取締ニ努メ來レルモ是等一味カ專ラ佛國租界ニ潛伏スル關係上我方ニ於テ直接手ヲ下スコトヲ得ス同租界當局ハ動モスレハ鮮

(欄外記入)
 本件ニ關シテハ一昨年カ一昨年頃陸軍ト在京仏大使館等トノ干係ニテ問題トナリタルコトアリ要注意
三浦君へ 有田

有田

(付箋)

水池事務官ニハ佛本国へ交渉スルニハ本邦ニ於テ安南人取締ニ付内輪ヲ取纏ムルノ要アリ且下考究中ナル旨話シ置ケリ

(水池亮内務事務官名刺貼付)

(付箋)
 上海佛租界ニ居住セル櫻田門外不祥事件ノ主謀者タル不逞朝鮮人一味ニ對シテハ同地帝國總領事館及赤木内務事務官等ニ於テ極力其ノ捜査内偵ニ努力中ノ趣ナル處本目的達成ノ爲メニハ同地佛租界警察當局ノ積極的援助ヲ必要ト認メラルニ就テハ右ニ關シ特ニ貴省ヨリ佛國政府ニ對シ協力申入方御考慮相成様致度此段得貴意候也

人獨立運動者ヲ政事犯人扱ヒスルノ風アリタルノミナラス本邦亡命中ノ安南獨立運動者首領一派ニ對スル我官憲ノ取締振甚タ不熱心ナルコトヲ理由トシテ片務的ニ對鮮人取締ヲ勵行スルヲ欲セス概シテ消極的態度ヲ示シ不逞分子逮捕引渡ノ我方要求ニ快ク應諾シタルコト殆ント無ク剩ヘ同租界警察ノ雇傭スル鮮人密偵ハ悉ク不逞分子ト脈絡ヲ有スルモノノ如ク同警察内部ニ於ケル一切ノ對鮮人劃策ハ逸早ク一味ニ通スルヲ常トシ爲メニ我方ノ取締ハ甚シキ支障ニ遭會スルヲ例トセリ

二、本年一月八日櫻田門外事件犯人取調ノ結果同事件ノ主謀者ハ佛國租界居住僑民團義警察隊長金九ナルコト判明シタルニ依リ我總領事館ニ於テハ大審院及警視廳ノ派遣係官ト協力シ極力其ノ捜査ニ努メタルモ(金九ハ事件後大審院ニ於テ起訴セラル)遂ニ檢舉ニ至ラスシテ又々四月二十九日上海虹口公園ニ於ケル爆弾事件ノ發生ヲ見ルニ至レリ

三、虹口公園事件犯人尹奉吉ノ陳述ニ依リ主謀者ハ李裕弼ナルモノト認メラレタルヲ以テ事件後直チニ我總領事館ヨリ佛國租界警察ニ對シ之カ逮捕方嚴重申入レタル結果同

警察ハ翌二十九日李ノ住家ヲ襲ヒタルモ既ニ逃亡後ニシテ僅カニ容疑人物一名(取調ノ結果獨立運動ノ重要幹部興士團長安昌浩タルコト判明セリ)ヲ引渡同行シタルニ過キス依テ我方ニ於テハ此際佛國租界内ノ不逞分子掃蕩ヲ斷行スルノ必要ヲ認メ金九及李裕弼ヲ含ム主要人物一四名檢舉ノ計畫ヲ立テ先ツ總領事館ヨリ同租界當局ニ交渉シタルニ出來得ル限リノ協力ヲ約シタルヲ以テ翌三十日早朝總領事館警察官四名、私服憲兵二三名計六六名ヲシテ同租界警察外人刑事一二名支那人刑事四八名ノ協力ヲ得テ檢舉ヲ行ハシメタルカ不逞分子ハ全部逃亡後ニシテ目的ヲ果サス其際容疑者一一名ヲ逮捕シ翌日同警察ヨリ其ノ身柄ノ引渡ヲ受ケタリ

四、佛租界ヲ逃亡セル不逞分子一味ハ多ク南市方面ニ入り込みタル模様ナリシヲ以テ支那海軍側カ從來比較的我方ト良好ナル關係ニ在リタルヲ利用シ我海軍武官ヨリ支那海軍側ヲ通シ溫公安局長ニ折衝シタル結果不逞分子ノ居所判明セハ逮捕方ニ付充分協力スヘキ約ヲ得タルヲ以テ五月三日我方ヨリ前記主要人物ノ外更ニ一二名ヲ加ヘ合計二六名ノ氏名ヲ舉ケテ逮捕方ヲ申入レ機ヲ見テ公安局ト

聯絡ノ上檢舉ヲ行フコトトセリ

五、一方五月一日佛國租界警察ヨリ引渡ヲ受ケタル容疑鮮人

二一名中金德根ナル者(韓國獨立黨執行委員金徹ノ甥)ヲ

嚴重訊問ノ結果虹口公園事件直前佛租界内ニ在リタル金

九ノ居所判明シタルヲ以テ直チニ之カ手入ヲ實行スルニ

決シタルカ機密ノ漏洩ヲ顧慮シ且緊急ノ際ニモアリ豫メ

佛租界官憲ニ通告セス五六日早曉警察官一〇名、私服

憲兵一〇名計三〇名ヲ以テ右居所ヲ包圍シタル上佛租界

警察側ニ通告シ其ノ來援ヲ待ツテ家宅搜索ヲ實行シタル

カ金九ハ五月三日既ニ何レヘカニ逃晦シ之ヲ逮捕スルヲ

得サリシモ(金九等幹部九名ハ目下南京城内ニ潛伏中ナ

リトノ情報アリ)今後ノ捜查上有力ナル参考資料ヲ擧ク

ルコトヲ得タリ而シテ我軍法會議豫審官ニ於テ引續キ虹

口公園事件犯人尹奉吉ヲ取調中ナリシ處其ノ陳述極メテ

曖昧ニシテ當初ハ前記ノ如ク其ノ主謀者ハ李裕弼ナルカ

如ク推定セラレタルモ五月十一日ニ至リ果然櫻田門外事

件ト同様金九ノ主謀ニ係ルモノナルコトヲ自白スルニ至

レリ

六、四月三十日ノ搜查ニ際シ佛租界當局カ我方ノ申入ニ應シ

キ事情アリタルコトヲ説明シタル上手入ノ際ハ支那人巡捕召集等ノ關係ヨリ自然鮮人密偵ニ洩ルル惧アルニ付今後ハ成ルヘク佛人警官ヲ使用スルコトセラレ度キ旨ノ要望ヲ留保シテ佛國側ノ申出ヲ受諾セリ

七、繙ツテ佛國租界警察内部ノ事情ヲ見ルニ櫻田門外事件ニ

於テ主謀者金九ト共犯關係ニ在リト見ラルル安恭根及嚴恒燮(共ニ大韓僑民團義警隊幹事)ノ如キハ何レモ同警察

ニ秘密勤務員トシテ雇傭セラレ居ル關係上(嚴ハ昭和六年末迄)假令當局ニ於テ我方ノ要求ニ依リ不逞分子一味ノ取締ニ乘出ス場合ニキ著手前ニ悉ク漏洩シテ所期ノ目的ヲ達シ難カルヘキハ勿論佛國租界トシテハ不逞鮮人ノ對日策動ニ付何等ノ實害ヲ感セサルモノナルヲ以テ虹口公園事件後當座ノ間ハ兎モ角今後モ引續キ其ノ積極的協力ヲ期待スルコトハ至難ナリト認メサルヲ得ス從ツテ目下我總領事館トシテハ右事件後佛國租界當局ノ示シタル誠意アル態度ハ出來得ル限り利用スルヲ怠ラサルモ同時ニニ全部ノ信賴ヲ置クコト無ク自ラ内債ニ全力ヲ注

キ公然ノ警察力ニ依ラスシテ臨機不逞分子逮捕ノ方途ヲ講スルノ方針ヲ立テツツアリ他方四月三十日ノ一齊手入

テ協力シタルノミナラス今後モ出來得ル限り協力スヘキ

ニ付不逞分子ノ居所突止メ次第申出アリ度キ旨ヲ申出ツ

ル等從來ニ例ヲ見サル好意的態度ヲ示セルハ虹口公園事

件犯人ヲ同租界内ヨリ出シタルコトニ付内心我方ニ對シ

相當ノ恐縮ヲ感シタルカ爲メナリト察セラル處五月六

日ノ手入ニ至リテハ同當局ノ意表ニ出テ不尠其ノ感情ヲ害シタルモノノ如ク同日午後同租界警察側ヨリ我總領事

館警察當局ニ對シ今後豫告無クシテ租界内ニ手入ヲ爲スコトハ見合ハセ少クトモ着手三〇分前ニ通告セラレ度キ

旨ヲ申出テ更ニ佛國領事ヨリモ我總領事館ニ對シ右無通常手入ニ對シ佛本國諸團體ヨリ抗議的電報アリ事佛國租

界行政權侵害ノ嫌アルニ付今後ハ警察上ノ手入レハ日本側ノ要求ニ基キ佛國側ニテ之ヲ行ヒ唯立會人トシテ日本

側ヨリ警察官一名ノ同行ヲ認ムルコトトシタキ旨申出テタルヲ以テ我方ヨリ右五月六日ノ手入ハ決シテ佛國租界

行政權ヲ侵害セムトスルノ意圖ニ出テタルモノニ非ス事急ヲ要シ實際上通告ノ違無カリシモノニシテ且之ヲ事前ニ

ニ通告スルトキハ鮮人密偵等ヲ通シテ漏洩シ殆ント常ニ失敗ニ終ハレル從來ノ實例ニ鑑ミ事前早クヨリ通告シ難

及佛國租界當局ノ協力ハ同租界内居住鮮人ニ一大脅威ヲ與ヘ獨立運動ニ關係アルト否ト向ハス男子ハ殆ト其ノ居所ヲ^(繙カ)暗晦シ獨立運動幹部ノ如キハ全然其ノ踪跡ヲ晦マシ居リ目下ノ狀態ニテハ彼等モ容易ニ此方面ニ復歸シ得サルヘク從ツテ實際上當分ノ間ハ之カ捜査等ニ關シ左迄同租界當局ノ協力ヲ必要トセサルカ如ク思惟セラレサルニ非サルモ同當局ノ誠意モ今後永キニ亘リ期待シ難キコト前記ノ如クナリトセハ其ノ方針ノ弛緩ニ乘シ又々烏合潛入シテ再ヒ事件前ノ狀態ニ立戻ルヘキコト疑ヲ容レス之ニ對シ同租界當局トシテハ佛本國政府ヨリ特別ノ訓令無キ限り進ムテ查察、捜査ヲ爲シ其他我方ニ對シ誠意アリ協力ヲ與フル等積極的態度ニ始終スルコトヲ得サルヘシ以上ノ見地ニ基キ事態ノ重大ナル此際機ヲ逸セス佛本國政府ノ注意ヲ喚起シ佛租界當局ヲシテ眞劍ニ我方ニ指名スル不逞分子ノ逮捕ニ努メシマル様交渉開始方村井總領事ヨリ稟申スル所アリタリ

八、右ハ極メテ理由アル所ナリト認メラルモ之カ實行ニ關聯シ考慮ヲ要スルハ本邦亡命中ノ安南獨立運動者首領「プリンス、コンデ」ニ對スル佛國側ノ態度ナリトス從

來佛國側ハ「コンデ」ノ本邦ニ於ケル動靜ニ對シテハ異常ノ關心ヲ持シ其ノ行動ニ關スル情報ノ入手ヲ要望スルノ餘リ我方ヨリ右情報ヲ又佛國側ヨリハ在滬不逞鮮人ニ關スル情報ヲ相互的ニ交換シ合ハムコトヲ提議シ來レルコト一再ニ止マラス從テ此際我方ヨリ佛本国政府ニ對上海佛國租界當局ノ不逞鮮人ニ對スル積極的取締方ニ付申入ヲ爲ス場合佛國側ヨリモ右「コンデ」ニ對スル我方ノ積極的取締方ニ付交換的ニ要求シ來ルコトアルヘキヲ豫期セサル可ラス然ルニ「コンデ」ハ最近本邦ニ於テ何等政治運動ト目サルベキ特異ノ行動ニ出テ居ラサル關係上內務官憲ニ於テモ之ニ對シテ殆ント格別ノ注意ヲ拂ハス佛國側ヨリ其ノ行動ニ關スル情報ノ供與ヲ求メラレタル場合ニモ多クハ消極的態度ヲ示シ來レルノミナラス同人ハ現ニ本邦ニ於ケル有力ナル國粹主義團体等ヨリ義俠的庇護ヲ受ケ來レルカ如キ機微ナル情實關係モアリ進ンテ積極的取締ニ出ツルコトニハ多大ノ難色アルヘシト察セラル〔プリンス・コンデ〕一派ノ滯日狀況及之力取締ニ關スル日佛間交渉關係ニ付テハ別紙調書參照〔省略〕

九、惟フニ帝國ノ朝鮮統治及國內治安ニ對スル滯滬不逞鮮人

ラル

~~~~~

昭和7年6月1日 亞細亞局第一課起案高裁案

## 在上海總領事館特高警察機關擴充について

付記一

五月十一日、亞細亞局第一課相場(清)理事官作成

〔上海爆弾犯人檢舉ノ爲憲兵駐屯ニ關スル件〕

二 五月二十五日、亞細亞局第二課作成

〔上海總領事館特高警察部設置問題ニ關シ陸軍省國分少佐ト會見〕

三 六月二十七日、亞細亞局第二課起案高裁案

〔上海特高機關擴充促進方過渡的辦法ニ關スル件〕

昭和七年六月壹日

亞細亞局第二課

高 裁 案

在上海總領事館特高警察機關擴充ニ關スル件

ノ脅威ハ今後容易ニ其跡ヲ絶タサルヘク殊ニ共產黨及日團體トノ連繫加ハルニ從ヒ其ノ策動ハ益々兇暴性ヲ帶フルニ至ルヘキハ想見ニ難カラス之カ對策トシテハ内部ニ於テ我出先官憲ノ查察取締ニ關スル機能ヲ充實スル一方外部ニ於テ佛國租界當局ヲシテ誠意アル自發的取締ニセシムルノ方途ヲ講スルヲ要ス右内部ノ對策ハ我方ノ自助的方策トシテ現下ノ狀況上一日モ忽ニス可ラサル所ナルヲ以テ出先官憲及關係各廳ノ要望及意見ヲ參酌シ同地我總領事館警察機關ヲ擴張シテ各方面ノ邇材ヲ網羅セル特別高等警察課ヲ設置スルノ具体案ヲ樹テ其ノ急速實現方別途ニ手配中ナリ(本件ニ付テハ別ニ請議ス)又外部ノ對策ヲシテ所期ノ效果アラシムル爲メニハ結局村井總領事稟申ノ通り佛本国政府ニ交渉スルノ外無カルヘキ處之カ爲メニハ先方ヨリ交換條件トシテ要求アリタル場合我方ニ於テモ「プリンス・コンデ」ニ對シ必要ノ取締ヲ加フルコトスルノ用意アルヲ要スヘキヲ以テ前記情實關係上相當ノ困難ハアルヘキモ大局上ノ利害ノ輕重ヲ考較シ此際政府ニ於テ政策的決定ヲ爲スノ必要アリト思考セ

國際都市タル上海カ東洋ニ於ケル國際的陰謀乃至犯罪ノ策源地タルコトハ過去ニ於ケル幾多ノ事例之ヲ證明スル所ナリ同地ニ於テハ共同租界、佛國租界及帝國總領事館等系統ヲ異ニスル數箇ノ警察機關併存シ各々其ノ警察權行使ノ態様及限界ヲ異ニスルノミナラス各國ノ利害亦必スシモ相同シカラス加フルニ犯罪又ハ陰謀ノ方法、範圍、性質等千差萬別ナル爲之力取締ニ當ル各系統當局間ノ統制ハ到底之ヲ望ミ難ク此ノ間隙ニ乘シ各種各様ノ犯罪乃至陰謀巧ミニ釀成セラレ之ニ對スル根本的取締ノ困難ナルハ實ニ想像ノ外ニ在リ

之ヲ本邦トノ關係ニ就テ觀ルニ日韓合併ニ不平ヲ抱キ國外ニ逃晦セル獨立運動者ノ一味中上海ニ亡命セル者ハ夙ニ大韓民國臨時政府、大韓僑民團、韓國獨立黨、韓人青年黨、興士團、丙寅義勇隊等ノ民族派不逞團ヲ結成シ頻リニ國外ノ同志ト策應シテ韓國光復ノ陰謀ヲ廻ラン我カ朝鮮統治ニ對シ不斷ノ脅威ヲ與ヘツツアリ他方露國共產黨ハ上海ヲ以テ其ノ東洋赤化運動ノ策源地ト爲シ早クヨリ「コミニンテル」及ヒ「プロフィンテル」ノ代表者ヲ同地ニ密派シテ中國共產黨ノ指導ニ當ラシムル外極東諸國ニ對スル宣傳ニ

從事セシメ現ニ日本共產黨ノ如キモ多ク是等ノ機關ヲシテ資金ヲ入手シ運動方針ノ領導ヲ受ケ黨員ノ入露ニ當リテモノミナラズ在滬民族派不逞鮮人ノ間ニモ共產運動ニ轉換スル者多數ヲ生ジ現ニ同地ニハ中國共產黨法南區韓人支部、留滬韓國獨立運動者同盟、中國革命互濟會韓人分會、上海韓人反帝同盟等ノ朝鮮人共產派不逞團體日本帝國主義打倒及朝鮮解放ヲ標榜シテ蠢動シ更ニ臺灣籍民間ニ最近擡頭シツツアル反帝同盟其ノ他ノ共產主義運動モ亦悉ク上海ヲ以テ搖籃ノ地ト爲シ其ノ氣勢何レモ侮ルベカラザルモノアリ本省ニ於テハ敍上ノ實情ニ鑑ミ上海ニ於ケル獨立運動者及共產運動者ノ取締ノ爲メニハ專ラ特高警察機關ノ活動ニ依リテ犯罪陰謀ノ眞相ヲ查察シ他面内地其他ノ關係各官廳ト常ニ密接ナル聯繫ヲ保持シテ取締ノ實ヲ擧グルノ要アルヲ認メ大正十年來特高警察ニ特殊ノ技能經驗ヲ有スル内務省事務官ヲ本省事務官兼警視(内務事務官兼任)ニ任シテ同地總領事館ニ配屬シ之ニ總領事館警察官若干名(現ニ警部補一名巡査七名)ヲ配屬セシメ同總領事指揮監督ノ下ニ特高

ノミナラズ在滬民族派不逞鮮人ノ間ニモ共產運動ニ轉換スル者多數ヲ生ジ現ニ同地ニハ中國共產黨法南區韓人支部、留滬韓國獨立運動者同盟、中國革命互濟會韓人分會、上海韓人反帝同盟等ノ朝鮮人共產派不逞團體日本帝國主義打倒及朝鮮解放ヲ標榜シテ蠢動シ更ニ臺灣籍民間ニ最近擡頭シツツアル反帝同盟其ノ他ノ共產主義運動モ亦悉ク上海ヲ以テ搖籃ノ地ト爲シ其ノ氣勢何レモ侮ルベカラザルモノアリ本省ニ於テハ敍上ノ實情ニ鑑ミ上海ニ於ケル獨立運動者及共產運動者ノ取締ノ爲メニハ專ラ特高警察機關ノ活動ニ依リテ犯罪陰謀ノ眞相ヲ查察シ他面内地其他ノ關係各官廳ト常ニ密接ナル聯繫ヲ保持シテ取締ノ實ヲ擧グルノ要アルヲ認メ大正十年來特高警察ニ特殊ノ技能經驗ヲ有スル内務省事務官ヲ本省事務官兼警視(内務事務官兼任)ニ任シテ同地總領事館ニ配屬シ之ニ總領事館警察官若干名(現ニ警部補一名巡査七名)ヲ配屬セシメ同總領事指揮監督ノ下ニ特高

警察ノ任ニ當ラシメテ今日ニ及ビ又朝鮮總督府、臺灣總督府等ニ在リテモ同地ニ派遣員ヲ駐派シテ夫々諜報勤務ニ從事セシメ來レリ然レドモ過去十餘年ノ體驗ニ依レバ右特高警察機關ト雖未ダ規模小ニ過ギ設備亦完カラズ複雜且機微ナル現地ノ實情ニ應ジ到底充分ナル機能ヲ發揮スルニ足ラザルノ憾アリ加フルニ民族派及共產派不逞鮮人ハ專ラ佛國租界内ニ潛伏スルモノナル處同租界當局ハ之力爲メ何等ノ實害ヲ感セサル關係上我方ヨリ逮捕引渡ヲ要求スルモ或ハ政治犯人不引渡ノ原則ヲ理由トシ或ハ本邦亡命中ノ安南人獨立運動者ニ對シ日本官憲カ取締ニ任セサルノ故ヲ以テ多クノ場合應諾スル所トナラサルノミナラズ同租界警察雇傭ノ鮮人が何レモ不逞分子ト脈絡相通ズルノ事實アル爲我警察ノ活動ハ實際上多大ノ障礙ニ遭ヒ屢々長蛇ヲ逸スルノ苦キ經驗ヲ重ネタリ剩ヘ前記我關係出先機關ノ間ニ於テモ往々ニシテ連絡協調ヲ缺キ甚シキニ至リテハ事ニ當リ互ニ功名ヲ争フガ如キ情弊ニ陥リ却テ不逞分子ニ乘ズベキ機會ヲ與フルノ愚ヲ演ジタルノ實例ニ乏シカラズ然ルニ客年滿洲事變以來ノ日支紛爭ニ乘ジ帝國ニ對スル共

產黨及不逞鮮人團ノ策動ハ支那側反日運動者ノ指嗾及連繫ヲ得テ俄ニ猖獗ヲ加ヘタルノ觀アリ遂ニ本年一月八日櫻田門外ノ不祥事件及四月二十九日上海ニ於ケル天長節祝賀會場ノ爆彈事件ヲ惹起スルニ至レリ在滬朝鮮獨立運動者ノ極メテ周密ナル計劃ト巧妙ナル潛行運動ニ依リ敢行セラレタル右兩回ノ兇暴行爲ガ不逞分子全般ニ如何ニ大ナル衝動ト激勵ヲ與ヘタルカハ思ニ過グモノアルへク而シテ兩事件ノ首謀者乃至連累者ガ事後ニ於ケル我官憲必死ノ手配ニ不拘殆ンド全部逃晦シテ猶檢舉ニ至ラザルノミナラズ内地リトノ情報頻リニ傳ヘラレ勢ノ赴ク所寔ニ寒心ニ堪ヘサルモノアリ

上海ニ於テハ目下總領事館警察中心トナリ憲兵隊、朝鮮總督府派遣員及櫻田門事件後出張滬中ノ司法關係官等ト相協力シ兩回ノ爆彈事件首謀者及連累者ノ檢舉ヲ主眼トシ佛租界當局ノ協力ヲ得テ四月二十九日事件以來既ニ兩度ニ亘リ同租界内ノ搜查ヲ行フ等不逞團查察取締ニ全力ヲ傾注シ居ルモ是等不逞分子ガ既ニ四散シタル今日之ガ搜查ハ今後一層ノ困難ヲ伴フヘシト想察セラルノミナラズ今後上海

方面ニ於ケル國際關係ノ複雜ヲ加フルニ伴ヒ共產黨ノ劃策ニ係ル陰謀又ハ犯罪ノ脅威モ益々加ハルベク現在ノ如キ小規模且不完全ナル總領事館特高警察ニ對シテハ此重大ナル情態ニ處シ克ク大事ヲ未然ニ防止スルノ重責ヲ負ハシムルコト殆ント不可能ニ近シト謂フノ外無ク此機ニ於テ早キニ臨ミ右特高機關ヲ擴充スルノ必要痛感セラル之ガ爲ニハ內務省、朝鮮、臺灣兩總督府、司法省、裁判所憲兵隊等ノ關係官廳ヨリ其ノ道ノ權威者ヲ集メ之ヲ總領事館職員ニ任用シ總領事指揮監督ノ下ニ特高警察課ヲ設ケ在來ノ總領事警察トノ間ニハ職務上ノ分界ヲ明カニスルト同時ニ相互協助ノ仕組ヲ定メ現地ニ於ケル查察取締ニ執掌セシムルト共ニ内地及殖民地當局ト當時密接ナル連絡ヲ保持セシメ以テ民族運動乃至共產運動等特殊犯罪ニ對スル特高警察上ノ實績ヲ擧クルコト最モ宜ニ適スルモノト認メラル以上ノ見地ニ基キ在上海總領事館特高警察課擴充計畫ヲ立案スルコト別紙ノ通ナル處本件ハ緊急實施ノ必要アル次第ナルニ付之ニ必要ナル法令ノ制定又ハ改正ヲ圖ルト同時ニ所要經費ハ今次六十二議會ニ提出シテ其ノ成立ヲ期スルコトト致シ度

右仰高裁

(追記)

本件特高警察ノ任務ノ遂行ニ當リテハ佛租界當局ノ完全ナル協力ヲ得ルノ根本的必要アリ蓋シ四月二十九日爆弾事件後ノ我方捜査ニ際シテハ同租界當局ハ同事件ノ犯人ガ其ノ管下在住者タリシ關係上我方ニ對シ内心頗ル恐縮シツツアリタルモノノ如ク從來ニ見サル好意的態度ヲ示シタルモ而モ我警察力ノ自主的行使ニ對シテハ猶釋然タラザルモノアリ今後モ引續キ充分ナル協力ト便宜ノ提供ヲ受クルコトハ到底期待シ得ザルヘキニ鑑ミ所期ノ目的ヲ達成スル爲ニハ此際帝國政府ヨリ佛本國政府ニ對シ正式ニ申入レヲ爲スノ必要アリト爲シ其旨村井總領事ヨリ稟申ノ次第アリ

然ルニ佛本國政府ニ對シ本件申入レヲ爲ス場合ニハ同政府ヨリモ本邦亡命中ノ安南獨立運動者ニ對スル積極的取締方ヲ交換的ニ要求シ來ルベキモノト豫期セサル可ラサル處右安南人一派ハ本邦ニ於テハ現實ニ何等政治運動ト見ルベキ行動ニ出テ居ラサルノミナラス其ノ亡命ニハ機微ナル裏面ノ情實モアリ我内務官憲ニ於テ

(別紙一)

上海總領事館警察部組織及事務分掌規程案要旨

第一、上海總領事館ニ警察部ヲ置ク

第二、警察部長ハ總領事ノ指揮監督ノ下ニ同館警察事務ヲ統轄ス

警察部ノ下ニ普通警察課及特別高等警察課ヲ置ク

第三、普通警察課ハ在來ノ總領事館警察署ノ事務ヲ掌ル

普通警察課長ハ總領事館警察署長ヲ以テ之ヲ兼任セシメ課員ニハ同署幹部ヲ以テ之ニ充ツ

第四、特高警察課ハ專ラ左記事項ニ關スル事務ヲ掌ル

一、社會主義、共產主義、無政府主義、其ノ他危險思想運動ニ關スル事項

二、朝鮮及臺灣ニ對スル帝國ノ統治ニ關スル警察的事項  
三、其ノ他ノ特別高等警察ニ關スル事項  
第五、特高警察課ニ左ノ職員ヲ置ク

領事 一名

副領事 四名

外務省警視 一名

外務書記生 三名

外務省警部 七名

外務省巡查 二〇名

事務囑託 一〇名

第六、特高警察課勤務ノ領事ハ同課ノ長トナリ總領事及警察部長ノ命ヲ承ケ同課所屬職員ヲ指揮監督シ課務ヲ掌理ス

第七、特高警察課職員ハ同課長ノ命ヲ承ケ課務ニ從事ス

(付記二)  
上海總領事館警察部職員表

七年五月十一日記

上海爆弾犯人檢舉ノ爲憲兵駐屯ニ關スル件

昭和七年五月十一日陸軍省軍務局軍事課ニ三浦亞二課長ノ代理トシテ國分少佐ヲ往訪シ上海ニ於ケル爆弾事件共犯檢舉ノ爲同地駐屯憲兵ヲ引續キ駐屯セシムル件ニ付同少佐ノ意見並軍部ノ計劃ニ付聞糺シタル所在ノ如シ

記

一、陸軍省ニ於テハ上海虹口公園爆弾事件共犯檢舉ノ爲憲兵ヲ引續キ駐屯セシメ尙ホ出來得ヘクンハ本不祥事件ヲ機トシ同地佛租界ニ根據セル不逞鮮人、共產黨關係人物ノ剣滅ヲ期ス可ク計劃シ本件ヲ昨十日ノ閣議ニ提案シテ閣

進ンデ之ニ手ヲ下スヲ好マサルノ風アリ從來佛國側ヨリ之ガ取締ニ關スル申出アリタルコト一再ナラザルモ

今日迄之ニ對シテ何等積極的措置ニ出デタルコトナキ次第ナルカ上海佛租界ニ於ケル不逞鮮人團ノ掃蕩上同

租界當局ノ完全ナル協力ヲ得ルコト絶対ニ必要ナリトセハ我政府ニ於テモ前記情實ヲ打破シ亡命安南人ニ對

ニ對シテ佛國側ノ要求アル場合必要ノ取締ヲ加フルコトニ政策的決定ヲ爲スコト亦已ムヲ得サルヘシ即チ佛國側ニ對スル交渉並之カ先決問題タル亡命安南人ニ對

スル取締方針ノ決定ハ本件特高警察課擴充問題ト併行シテ考究ヲ要スル所ナルカ右ニ付テハ改メテ請議スルコトト致シ度シ

議決定ヲ經タリ

三、右閣議決定ニ基キ不取敢ノ措置トシテ陸軍大臣ヨリ出先軍司令官ニ對シ

1、軍司令部ノ撤退ニ至ル迄ノ間ニ駐屯憲兵ハ領事館警察機關ヲ支援シテ犯人逮捕ノ目的ヲ達スルコト  
尙能フ可クンハ之ヲ機トシテ不逞分子ノ掃蕩ヲ圖ルコト

2、之力實行ニ當リテハ領事館警察及工部局警察側ト充分ナル聯繫ヲ取り國際問題ヲ惹起スルカ如キコトナキヲ期スルコト

等ヲ命令スル手筈ヲ定メ（未決済ノ案ヲ内示シ）居レリ

3、現在ノ憲兵ハ總員七五名ナル處本件ノ實施上兵力不足ヲ感シ三〇〇名ノ補助憲兵ヲ殘留セシムルノ案ヲ立テタル

モ斯クテハ遠隔ノ地ニ補助憲兵ヲ長期駐屯セシムルコトハ諸種ノ困難アリ且ツ目下ノ處海軍陸戰隊モ駐屯中ナルニ付必要ノ場合何時ニテモ應援可能ナル旨海軍側ノ申出モアリ旁々右補助憲兵案ハ之ヲ中止セリ

4、然レトモ現在ノ憲兵ハ各地ヨリノ混成ニ成リ其素質ニ於テモ必スシモ適任者ノミトハ限ラレサルヲ以テ六月中旬

頃迄ニハ順次（鮮人事情、思想方面、露鮮支英語ニ通スルモノ）適當ノ者ト交替セシムルコト

五、爆彈事件ヲ好機トシ可成短日月間ニ是等不良分子剿滅ニ成功スル様努力セシメタキコト

等ノ理由ヲ説明シ此際右目的ヲ達成スル爲外務省並出先領事館側トノ連絡協調方ニ付何等便法考慮方ノ希望ヲ述ヘ尙憲兵ヲ引續キ駐屯セシムル一面ノ理由トシテ同地在留邦人カ皇軍ノ永續駐屯ヲ可ナリ根強ク要望シ居レルコトニ對スル一種ノ緩和策トシテ軍服着用者タル憲兵ヲ其儘當分ナリトモ居据ラシムルコトトナリタル旨内詰附言セリ

右ニ對シ相場理事官ハ

一、從來上海（上海ノミナラス樞要數ヶ所ニ）ニ特高機關ノ設置ヲ考ヘ居ルコト

二、經費關係ノ點ニ於テ右計劃ノ常ニ挫折勝ナルコト

ヲ説明シ此際爆彈事件ヲキツカケニ領事館警察カ各方面ト聯絡シテ過般來數回ニ亘リテ佛租界ノ手入レヲ敢行シタルコト、從來佛租界手入ニ極メテ複雜ナル裏面ノ關係アリテ奏功意ノ如ク成ラサリシコトヲ概説シ

一、外務省トシテモ此際何トカシテ年來ノ目的ヲ達シ度希望

ヲ有スルハ山々ナルコト

二、之カ爲軍駐屯時ニ於テ憲兵側ノ支援ヲ得ルコトハ最モ贊成スル所ナルコト

ヲ述ヘタルニ同少佐ハ軍司令部駐屯中ハ憲兵ハ同司令官ノ指揮下ニ在ルモ其撤退後ハ憲兵司令官ヲ通シテ同地駐在特務機關ノ指揮下ニ入ルコトカ本筋ナル處一面犯人檢舉ノ如キ警察的發動ハ飽ク迄領事館警察力表面ニ立タサル可カラサルモノト諒解スルニ付此間何トカ有効適切ナル組織ヲ設クルヲ得間敷哉トノ質問アリ右ニ對シ相場ハ私案且思付トシテ

一、關係各方面ノ完全ナル諒解ヲ得ルヲ得ハ之等ヲ一團トシテ同一共同ノ目的達成ニ驟進スルコト必スシモ難事ニ非ラス

三、即チ憲兵及海軍側、朝鮮、台灣兩府、司法省、內務省側ノ出先者並領事館警察ヲ總領事ノ下ニアラシメ各自抜掛

ノ功名ヲ爲スコトヲ嚴戒スルコト

四、永久的組織体ノ實現ヲ望マシキモ此際急場ノ間ニ合ハサ受ケシムルコト

（付記二）

昭和七年五月二十五日

上海總領事館特高警察部設置問題ニ關シ陸軍

省國分少佐ト會見

首題ノ件ニ關シ別紙ノ如キ要領ニ依リ相場理事官ハ陸軍省軍務局國分少佐ヲ往訪前回會見ニテ再會ヲ約シタル点ヲ説明シタルニ同少佐モ全然同感ナルコト及先般上海出張ノ永

田少將カ同地軍側首脳部トノ間ニ本件ニ付テ熟議ヲ遂ケタ  
ル結果ノ對案ナリトシテ内示シタル要領左ノ通り

記

一、佛國租界ヲ共同租界ニ併合スルヲ得ハ最モ良策ナルコト  
二、右カ困難ナラハ改メテ共同租界工部局ノ警察権ヲ佛租界  
ニ及ホシ得ル様仕向クルコト  
三、以上兩ツ乍ラ不可能ナルニ於テハ佛租界内ニ於ケル帝國  
臣民ノミニ對シ我警察権行使方ノ實現ヲ図リ度キコト  
四、右三ヶ案共実現困難ナル場合ハ佛租界側ト連絡協調シ喰  
ハスニ利ヲ以テシテ我方ノ警察権行使ヲ円滑ナラシムル  
コト

以上對外事項ノ外對内事項トシテ

一、現在ノ總領事館特高部ヲ極メテ強力ナルモノタラシメ最  
モ適當ノ人物ヲ以テ強キ組織体タラシムルコト  
二、表面飽ク迄總領事館警察ヲ押立テ軍及憲兵ハ内部ニ在リ  
テ其ノ意図ニ合スル如ク之ヲ指導スルコト  
三、本件ノ為相當ノ經費ヲ計上シ活動ヲ自由ナラシムルコト  
等ヲ協議成案ヲ得タル趣ナリ

依テ相場理事官ハ外務省ニ於テ目下成案ヲ急キツ、アル特

高警察部設置方針ト軍側ノ希望トハ全然同一方向ニ進ミ  
ツ、アルコト、之カ実現ヲ期スル為ニハ關係官廳タル軍、  
内務省、司法省、朝鮮臺灣兩總督府等ト急速熟議ヲ遂クル  
ク大藏省ニ對シテハ關係各方面ノ共同戰線ヲ張ルノ要アル  
ヘキコトヲ内話セルニ國分少佐ハ目下各方面共幸ニ全然協  
力ノ実ヲ挙ケントシツ、アル此ノ際ヲ逸セス是非今六十二  
議會ニ提出可能ナル様至急ニ高等政策事項トシテ閣議決定  
ヲ取付ケ然ル後事務的交渉ヲ開始スルコト絶對必要ナルコ  
ト並之カ為大藏省ニ對スル交渉ノ如キハ幾ラデモ支援スル  
ニ吝ナラサルヘク願クハ是非至急ニ其運ニ至ル様吳々モ希  
望スル旨ヲ述ヘ佛租界手入ノ可能性カ此ノ際ヲ措テハ他ニ  
求ム可カラサル旨ヲ熱心ニ繰返セリ  
以上

(別紙)

昭和七年五月廿參日

上海總領事館警察ト憲兵トノ連絡方ニ關シ陸軍省

國分少佐ニ回答

一、過日御内話アリタル上海ニ於ケル殘留憲兵ヲシテ總領事

館警察ノ活動ヲ支援セシムル件ニ關スル陸軍省側ノ意向  
ヲ村井總領事ニ内示シ右ニ對スル同總領事ノ意見ヲ徵シ  
タル處  
(1)爆弾犯人檢舉ニ付テハ既ニ同館警察側ト憲兵隊ノ間ニ  
完全ニ提携成リ連絡協調上何等遺憾ノ點ナキコト  
(2)憲兵隊ノミナラス各關係機關トノ聯絡協調ハ事態ノ重  
大性ニ鑑ミ各自ノ自覺ニ基ク眞ノ責任感ニ依リ好感ト  
善意トニ重キヲ置クヲ要シ必シモ形式張リタル事務  
嘱託等ハ陸軍側ニテ希望セラルモノナラハ固ヨリ不可  
ナキモ領事側ヨリ進ンテ嘱託トスルニモ及ハサルヘ  
キコト  
(3)各機關各自ノ抜駁的功名ヲ爭フノ不可ナルハ申ス迄モ  
ナキ次第ナルカ此ノ點ハ目下ノ處各方面共全然其ノ懸  
念ナキコト

(4)中央ニ於テ本件ノ如キ領事館警察ヲ主動的立場ニ置キ

相互連絡主義ヲ確立セラレタル上ハ夫々其ノ筋ヲ經テ

出先者ニ通達セラルニ於テハ一層ノ努力ヲ以テ各機

關ノ連絡協調ヲ圖ルヘキコト

等回電シ來リタリ

(付記三)

七、六、二七

七、七、九、高裁済

上海特高機關擴充促進方過渡的辦法ニ關スル件

上海總領事館特高警察機關擴充方ニ關シテハ曩ニ高裁案ヲ

以テ經同ノ上之ニ要スル經費増額ニ付テハ大藏省當局ニ極

力折衝シタルモ第二豫備金ノ支出ニ付其ノ同意ヲ得ルニ至

ラス來ルヘキ臨時議會ニ提出スルコトニ内交渉ヲ遂ケタリ

然ルニ上海ニ於ケル特高事務ハ同地ノ機微ナル動キニ基キ

一日モ速ニ之カ實施ノ必要ヲ痛感スルニ至リ且ツ出先各機

關ノ一致協力上是非共本件計畫ノ實現ヲ促サルル次第ナル

別記權宜ノ方法ニ依リ不取敢(1)實質的機關ノ組織ヲ爲スコ

トシ(2)之ニ要スル經費ハ一時本省他ノ經費ヨリ織合セ支

辨(豫算増額ノ上戻入)ノ方法ヲ採リ(3)此ノ方針ニテ關係各

省ト折衝スルコト致度

右仰高裁  
右仰高裁

### 上海特高警察機關實現ニ關スル過渡的辦法

#### 一、組織及運用

組織及運用ニ付テハ曩ニ高裁ヲ經タル「上海總領事館警

察部組織及事務分掌規程案要旨」ニ準據ス

但シ新規豫算成立迄ハ可成經費ヲ節約スル意味ニ於テ極

メテ少數ノ人員ヲ配置シ其ノ活動亦眞ニ已ムヲ得サル消

|   |   |                                           |        |                       |    |                                           |        |                       |   |
|---|---|-------------------------------------------|--------|-----------------------|----|-------------------------------------------|--------|-----------------------|---|
| 同 | 上 | 關東廳、憲兵各一、<br>外務省四、<br>朝鮮五、內務省七、<br>東二、臺灣關 | 外務省巡査四 | 內務省一、朝鮮二、<br>八、ハ其ノ儘トス | 同上 | 關東廳、憲兵各一、<br>外務省四、<br>朝鮮五、內務省七、<br>東二、臺灣關 | 外務省巡査四 | 內務省一、朝鮮二、<br>八、ハ其ノ儘トス | 計 |
| 上 | 上 | 關東廳、憲兵各一、<br>外務省四、<br>朝鮮五、內務省七、<br>東二、臺灣關 | 外務省巡査四 | 內務省一、朝鮮二、<br>八、ハ其ノ儘トス | 上  | 關東廳、憲兵各一、<br>外務省四、<br>朝鮮五、內務省七、<br>東二、臺灣關 | 外務省巡査四 | 內務省一、朝鮮二、<br>八、ハ其ノ儘トス | 上 |
| 上 | 上 | 關東廳、憲兵各一、<br>外務省四、<br>朝鮮五、內務省七、<br>東二、臺灣關 | 外務省巡査四 | 內務省一、朝鮮二、<br>八、ハ其ノ儘トス | 上  | 關東廳、憲兵各一、<br>外務省四、<br>朝鮮五、內務省七、<br>東二、臺灣關 | 外務省巡査四 | 內務省一、朝鮮二、<br>八、ハ其ノ儘トス | 上 |
| 上 | 上 | 關東廳、憲兵各一、<br>外務省四、<br>朝鮮五、內務省七、<br>東二、臺灣關 | 外務省巡査四 | 內務省一、朝鮮二、<br>八、ハ其ノ儘トス | 上  | 關東廳、憲兵各一、<br>外務省四、<br>朝鮮五、內務省七、<br>東二、臺灣關 | 外務省巡査四 | 內務省一、朝鮮二、<br>八、ハ其ノ儘トス | 上 |
| 上 | 上 | 關東廳、憲兵各一、<br>外務省四、<br>朝鮮五、內務省七、<br>東二、臺灣關 | 外務省巡査四 | 內務省一、朝鮮二、<br>八、ハ其ノ儘トス | 上  | 關東廳、憲兵各一、<br>外務省四、<br>朝鮮五、內務省七、<br>東二、臺灣關 | 外務省巡査四 | 內務省一、朝鮮二、<br>八、ハ其ノ儘トス | 上 |

#### 三、經費

前項ノ人員配置ニ要スル人件費及物件費ハ六十三議會ノ追加豫算成立迄ノ間臨時本省他ノ經費ヨリ織合セ支辨ス

ルコトト致度尤モ警視、警部、巡查ニ付テハ既定豫算ニ對スル欠員ニ依リ之ヲ任命シ得ベク又特高課長ハ現在ノ外務事務官ヲ以テ充ツルニ付増員ノ問題起ラス獨り兼任

外務書記官タル警察部長ハ出張ノ形式ニテ領事ノ在勤俸(妻加俸ヲ含ム)ニ相當スル減額旅費ヲ支出スルヲ要スベシ

物の施設ニ關シテハ此際出來得ル限りノ節約ヲ行ヒ左ノ限度ニ止メ度シ

極的範圍ニ限定シ他日ノ準備ヲ爲ス

#### 三、前項ノ趣旨ニ基キ不取敢左ノ職員ヲ配置ス

（欄外記入）

警保局ト交渉開始シ可然哉

四、以上ノ方針ニ依リ關係各省ト協議スルコト  
アルヘシ

| 科 目           | 臨 時 辨 法                     |
|---------------|-----------------------------|
| 謀 報 費         | 差當リ貳千圓ヲ限度トシテ施行シ具體案ヲ徵シ詮議スルコト |
| 自 動 車         | 差當リ一台ヲ備附クルコト                |
| 自 動 車 車 庫 新 营 | 必要ニ應ジ設置スルコト                 |

備考 右ノ外渡切費、雜費ノ自然増加ヲ見積リ置クノ要

シ

以上

499 昭和7年7月31日 在仏國長岡大使より 内田外務大臣宛(電報)

共産運動に関する日仏情報交換を仏國側に提議しこれを明治四十年日仏協約の追補とすべシ

き旨意見具申

## 第六一九號(極秘)

六月七日附貴信亞二機密合第五九二號ニ關シ

佛國政府ハ印度支那ニ於ケル共產運動ノ取締ニ付テハ餘程痛心ノ模様ニテ前内閣ノ殖民大臣「レーノー」カ客年同地ニ赴キタル主ナル目的モ右取締ニ在リシ由ニテ又印度支那カ蘭領印度ト共產運動取締ニ關シ情報交換ノ約束ヲ爲シ居ル模様ナルハ御承知ノ通ナリ

就テハ此ノ際貴信御來示ノ申入ヲ爲スニ當リテハ問題ヲ擴メ印支其他極東ニ於テ佛國カ緊密ノ利害ヲ有スル地方ノ安寧秩序ヲ紊亂セントスル各種ノ企圖(單ニ共產運動ノミナラス)ニ關シ我方ノ有スル情報ヲ佛國ニ與フルト同時ニ佛國側ノ有スル日本關係ノ同種ノ情報ヲ我方ニ供給セシメ相

互ニ情報ノ交換ヲ爲ス事ヲ提議シ出來得ヘクハ一九〇七年六月十日日佛協定ノ追補ノ形式トシテ取極ヲ爲スニ於テハ相當ノ政治的效果アルヘキヤニ存セラル右御考慮ノ上何分ノ儀御回電ヲ請フ

## 仏國租界における反日朝鮮人取締りに關し仏

国政府の協力が不可欠の旨意見具申

付記一 十一月(日付不明)、亞細亞局第一課より陸軍省軍務局軍事課宛

プリンス・コンデ動靜に關する情報供給に応諾の方針について

## 二

昭和八年十月十六日起草桑島亞細亞局長より

在本邦ド・ランス仏國臨時代理大使宛半公信  
プリンス・コンデ外二名の情報提供について

上 海 9月15日後発

本省 9月16日前着

## 第一〇四九號(極秘)

往電第一〇三五號ニ關シ

(欄外記入)  
憲兵隊百名カ陸軍撤兵後モ當地ニ殘當シ居ル目的ハ金九及朝鮮獨立黨員ノ檢舉ノミニ在ルモノノ如ク又海軍武官側ニ於テ往電第八九九號ノ通關係支那側ヲシテ金九ヲ逮捕セシメタリト信シ居ルカ如キモ當館其後ノ情報ニ依レハ事實疑

ハシク支那人情報屋ニ誤ラレタリト見ラル節無キニ非ス當館ニ於テモ各方面トモ協調ノ上金九其他一味ノ逮捕ニ努

メ居ルモ何様佛國側トシテハ我方ニ於テ安南獨立運動ヲ取締ラス「プリンス、コンデ」ヲ庇護シ居ル一派カ日本國內ニ存スル限り朝鮮獨立運動ヲ我方ニ對スル安南獨立運動取締要求ノ駆引トシテ利用スル腹ナルコト察スルニ難カラス

從テ朝鮮獨立運動ニ對スル我方ノ行動ヲ妨害セサル迄モ積極的ニ取締ノ意思無キコト明カニシテ

結局佛租界内朝鮮獨立運動首謀者ノ逮捕延テハ同運動ノ根絶ノ如キ佛國側ノ右様態度變ラサル限り甚夕望ミ薄ニテ極論スレハ百年河清ヲ待ツニ等シノ感無キ能ハス特高課設置ハ固ヨリ當方ノ從來ヨリ希望セル處之カ機能發揮ニハ全力ヲ竭ス可キモ如何セン佛國側ニ於テ從來ノ態度ヲ改メ積極的ニ朝鮮獨立運動取締ノ意嚮ヲ有スルニ至ラサル限り佛租界内獨立運動彈壓ニ付テハ餘リ多クヲ期待シ難カル可キヤ

ニ認メラル幸ヒ目下日本政府ヨリ佛本國政府ニ對シ交渉ナル日佛交渉ニ關聯シ出來得レハ佛租界内朝鮮獨立運動取締要求方切望ニ堪ヘス現地ノ事情ニ鑑ミ忌憚無キ卑見何等御参考迄申進ス

## 五 上海事變關係

ハシク支那人情報屋ニ誤ラレタリト見ラル節無キニ非ス當館ニ於テモ各方面トモ協調ノ上金九其他一味ノ逮捕ニ努

(付記一)  
公使ニ轉報セリ(欄外記入)  
日佛兩國間ニ於テ我ヨリハ本邦亡命中ノ安南革命運動者首領「プリンス、コンデ」ノ動靜ニ關シ又彼ヨリハ上海方面ニ於ケル不逞鮮人ノ行動ニ關シ相互的ニ情報ヲ交換セムトスルノ案ハ大正十四年初メテ佛國側ヨリ提議セラレタル所ナルカ爾來兩三回ニ涉リ種々ノ機會ニ於テ同一ノ提議繰返サレタルモ日本側トシテハ「プリンス、コンデ」カ近年何等政治的運動ニ出テ居ラサル爲メ特ニ佛國側ニ供給スヘキ情報ヲ有セサルノミニラス當時ニ在リテハ上海不逞鮮人ノ取締上特ニ佛國側情報ヲ求メサル可ラサル必要ニ迫ラルルコト少ナカリシ等ノ關係上常ニ消極的態度ヲ執リ來レル結果何等具体的進展ヲ見ルコト無クシテ今日ニ及ヘリ然ルニ最近ニ至リ別記理由書中ニ詳述セルカ如キ事情ノ發生ニ依リ我方トシテ上海方面ニ於ケル不逞鮮人ノ不穩策動ヲ取締ルノ緊切ナル必要ニ迫ラレ此ノ目的ノ爲メニハ結局同地佛國官憲ノ好意的協力ニ俟タサル可ラサル立場ニ立ツニ至レリ而シテ佛國側ノ協力ヲ贏チ得ルカ爲メニハ結局

來ノ要望ヲ満足セシムルノ態度ヲ示スヲ要スヘキニ就テハ

此際「プリンス、コンデ」ノ動靜ニ關スル情報ノ供給方ヲ

應諾スルコトニ方針ヲ決定スルト共ニ之ニ依リテ上海不逞

鮮人取締上ニ於ケル同地佛國官憲ノ友好的協力ヲ要求シ以

テ取締ノ完全ヲ期スルコト致シ度

#### 理由書

一、上海ニ潛伏スル民族主義不逞鮮人ノ策動ハ時局ノ影響ヲ受ケテ最近頓ニ猖獗トナリ支那ノ強烈ナル反日風潮ヲ利用シテ朝鮮獨立ニ關スル潛行運動ヲ擅ニシツツアル一方中國共產黨ノ勢力伸張ニ伴ヒ日本帝國主義打倒及朝鮮民族解放ヲ標榜シテ共產主義運動ニ轉向スルモノ亦尠カラス而シテ是等兩派ノ不逞分子ハ運動ノ具体的手段トシテ帝國ノ施設ノ破壊及文武要路ニ對スル加害ヲ目的トスル恐ルヘキ兇暴行爲ヲ劃策シツツアル處現ニ本年一月八日櫻田門外ニ於ケル大逆事件及四月二十九日上海虹口公園ニ於ケル爆彈事件等ノ不祥事件ハ何レモ民族主義者ノ有力結社タル大韓僑民團ヲ中心トスル不逞鮮人ノ所業タルハ周知ノ事實タリ斯クノ如クニシテ彼等ノ不逞策動ハ啻ニ朝鮮統治ニ對スルノミナラス實ニ帝國ノ安寧其ノモノ

二、如上ノ事態ニ鑑ミ帝國政府ハ曩ニ内地及植民地關係官廳ノ特高警察機關ヲ擴充シ就中特ニ海港警備ノ機能ヲ充實セシムル一方在上海總領事館警察機關ノ陣容ヲ整備充實シ以テ内外各關係機關相呼應シテ上海ニ釀成セラル此種犯罪ノ掃滅及國內侵入防止ニ遺憾無カラシムルノ方途ヲ講シタリ而シテ之カ目的ヲ達成スルカ爲メニハ是等不逞策動ノ源泉タル上海ニ於テ塞源拔本的取締ヲ爲スヲ必要トスル處彼等ハ殆ント例外無ク佛國租界ニ潛伏シ我出先官憲ニ於テ直接之ニ權力ヲ及ホシ得サル關係上之カ取締ノ實效ヲ舉クル爲メニハ同租界官憲ノ誠意アル協力ニ俟タサル可ラサル事情アリ

三、然ルニ佛國側ハ本邦亡命中ノ安南革命黨首領「プリンス、コンデ」カ今猶本邦ニ於テ或ル方面ヨリ多少トモ庇護ヲ受ケ居ルノ事實ニ對シ先入主的ニ反感ヲ懷キ且日佛兩國間ニ於テ「プリンス、コンデ」ノ動靜及上海方面ニ於ケル不逞鮮人ノ行動ニ關スル情報ヲ相互ニ交換セムトスル佛國側再三ノ提議ニ對シ日本側カ常ニ微溫的態度ヲ示シ來レルヲ不滿トシ(本件情報交換方提議ノ成行ニ付テハ

別紙参照)動モスレハ同租界ニ於ケル不逞鮮人ヲ政治犯人視シ我出先官憲ノ取締ニ對シ片務的ニ協力スルヲ欲セス而シテ右等不逞鮮人ニ對シテハ從來我官憲ニ於テ屢々手入ヲ試ミタルモ右佛國租界官憲ノ消極的態度ニ累セラレ多クノ場合ニ於テ失敗ニ終ハレルハ累次ノ實例ノ示ス所ナリ從テ今後右等不逞鮮人取締ニ關スル前記帝國政府ノ對策ニ成果アラシムル爲メニハ我方ニ於テモ「プリンス、コンデ」ノ動靜ニ關スル情報供給方ニ付事情ノ許ス限り佛國側年來ノ要望ヲ満足セシムルノ用意アルコトヲ知ラシメ以テ同租界官憲ノ態度ヲ我方ニ友好的ニ轉換セシムルコト必要ナリ

四、此點ニ關聯シ考慮ヲ要スルハ佛國政府ノ對日態度及帝國ノ對佛政策ニ關スル問題ナリ佛國政府ハ滿洲事變ニ基因スル日支紛爭ニ關シテハ當初ヨリ我方ニ對シ比較的有利ナル態度ヲ示シ殊ニ現下ノ國際聯盟諸會議ニ於ケル日支問題ノ處理並滿洲國ニ對スル投資問題等ニ於テ其ノ親日的態度ノ益々加ハレルヲ窺知シ得ヘキニ似タリ右ハ同國政府カ由來我方ニ近似セル對支政策ヲ採り來レル爲メ我カ政策ニ對シ相當ノ理解ヲ有スルト同時ニ其ノ歐洲ニ於

ケル制覇政策ノ遂行上極東ニ於ケル兩國ノ政治的接近ヲ有利トスルノ事情ノ反映ナルヤニ認メラル處帝國トシテハ現下並今後ノ對外政策遂行上有フユル機會ヲ把握シテ日佛間ノ友好關係增進ニ努ムルコトヲ得策トスヘキハ論無キ所ナルカ最近上海ニ於ケル我出先官憲數次ノ不逞鮮人手入カ多ク佛租界官憲トノ間ニ葛藤ヲ惹起シ佛本國ノ人心ヲ刺戟シタルコト尠カラサルモノアリ惹イテ同國間ニ我方ニ不利ナル輿論ヲ釀成スルノ虞アルニ鑑ミ此際「プリンス、コンデ」ノ所遇ニ關スル前記佛國側ノ偏見ヲ除去シ不逞鮮人取締問題ニ關スル同租界官憲ノ態度ヲ我方ニ有利ニ誘導スルコトヲ得ハ大局上日佛兩國ノ政治的接近ニ貢獻スル所蓋シ鮮少ナラサルヘシ

五、「プリンス、コンデ」ノ本邦亡命ノ事情、亡命後ノ動靜ハ別紙調書ノ通ニシテ其ノ渡來ノ當初ニ在リテハ廣東方面ニ同志ト連絡シテ相當策謀ヲ試ミタル模様ナリシモ近年ニテハ何等政治運動ト目サルヘキ特異ノ行動ヲ見サリシ關係上本邦官憲トシテハ之ニ對シ特別ノ注意ヲ拂フ要無カリシモノノ如ク又「コンデ」カ引續キ單ナル政治亡命客トシテ本邦ニ滯留シ其間何等政治的策動ニ出テサル

限り本邦官憲トシテ不必要ニ其ノ行動ヲ監視又ハ束縛ス  
ヘキ理由無キノミナラス之カ生活ニ對シ義侠的援助ヲ與  
フル向ニ對シテモ何等干涉ヲ加フルヲ須ヒサルハ論ヲ俟  
タサル所ナルカ佛國側カ今日我方ニ要望スル所モ「コン  
デ」ノ逮捕引渡乃至其ノ自由ノ拘束等積極的取締ニ在ラ  
シテ單ニ其ノ動靜ニ關スル情報ノ供給ニ止マルモノト  
推斷シ得ラルニ鑑ミ佛國側ヨリ此ノ程度ノ要求アリタ  
ル場合事情ノ許ス限り之ニ應シ適宜通報スルノ好意ヲ表  
示スルコトハ「コンデ」所遇ニ關スル我方ノ自主的立場  
ヲ毫モ損傷スルコト無クシテ佛國租界官憲ノ態度ヲ我方  
ニ有利ニ誘導スルノ實效アリト思考セラル

六、所謂東洋諸民族ノ盟主トシテ弱小諸國ノ間ニ卓立スル帝  
國トシテハ是等諸民族カ歐米諸強ノ蠶食ニ委セラルヲ  
防護スヘキ道義的使命ヲ與ヘラレタルモノト謂フヘク獨  
リ本件安南革命派ニ限ラス諸多ノ東洋人政治亡命客ニ對  
シ從來本邦朝野ニ於テ義俠的庇護ヲ加ヘタルハ畢竟此ノ  
種ノ見地ニ出タルニ外ナラス以上ノ見地ヨリノミヨリス  
ルトキハ「プリンス、コンデ」ノ動靜ニ關シ佛國側ニ情  
報ヲ供給スルノ方針ニ轉向スルカ如キハ東洋弱少民族ニ  
ヲ争ヒタルコトアルモ成功セス

二〇〇年同王ノ死スルヤ王族等ハ Prince Mi-Duong ノ選  
定ヲ否認シ其ノ叔父 Ming-Mang ハ擁立シテ王位ヲ繼  
カシメ爾來其ノ子孫引續キ安南ニ君臨シ一八八九年  
Ming-Mang ノ裔 Don Khanh 王ノ死ニ際シ Mi-Duong  
ノ孫ニシテ「コンデ」ノ父ニ該ル Prince Auh-Nhu 王位  
ヲ争ヒタルコトアルモ成功セス

Prince Auh Nuh ノ死後「コンデ」ハ Prince Mi-Duong  
唯一ノ直系相續人トシテ王位繼承權ヲ主張ス  
」「コンデ」ノ動靜

同人ハ一八八二年（明治十五年）安南 Hué 市ニ生ル明治  
三十九年日本ニ來リ振武學校ニ入校ス爾來阮中興其他  
種々ノ偽名ヲ用ヰ清國人ト稱シテ東京ニ潛伏シ反佛革命  
ヲ策セリ、明治四十年頃安南ヨリ彼ノ下ニ送ラレ東亞同  
文書院ニ在學セル安南留學生ハ約六〇名ニ達セルカ如ク  
當時主トシテ此等學生ノ監督指導並ニ檄文及不穩文書ノ  
配布其他ノ實際運動ニ當レル在東京安南人袖領ハ潘是漢  
ト稱スルモノナリシカ如シ  
然ルニ明治四十一年頃ヨリ安南ニ於ケル給資者ノ多數カ  
佛國官憲ノ爲捕ヘラレ資源漸ク枯渴スルニ至リ一方帝國  
館ノ希望ニ應シ其ノ動靜ニ關スル情報ヲ供給シタルカ大

（別紙）  
「プリンス、コンデ」（Prince Quong-De）ニ關ス  
ル件  
「コンデ」ノ王位繼承權  
十九世紀ノ初安南王タリハ Gia-Long ハ王位繼承者トシ  
テ王孫ノ一人タル Prince Mi-Duong ハ指定セルカ一八

政府ニ於テモ佛國側ノ申出ニ基キ警視廳ヲシテ安南留學  
生ニ對シ反佛不穩行動ノ中止ヲ警告セシメタル等ノ關係  
モアリ留學生ノ大部分ハ歸國シ前顯潘是漢ハ明治四十二  
年三月香港ニ退去シ十月ニ至リ「コンデ」亦帝國政府ノ  
諭示ニヨリ一旦上海ニ退去セリ  
其後數年間同人ハ香港新嘉坡暹羅歐洲及支那各地ヲ流浪  
セルモノノ如キ處大正四年乃至八年ノ間ニ再ヒ東京ニ潛  
入犬養毅、頭山滿、柏原文太郎等ノ庇護ヲ受ケ支那人林  
順德其他ノ偽名ヲ稱シ廣東方面同志ト往復シ革命運動ヲ  
繼續シツツアリタルヤノ形跡アリ（但シ此ノ間ニ於ケル  
内務省側ノ調査ハ正確ニ「コンデ」ニ該當スト認メラル  
ル者ヲ發見セスト云フニ終始ス）昭和四年四月頃ニハ大  
久保町西大久保一四四ニ居住シ前顯犬養、頭山等ノ援助  
ニヨリ辛ウシテ生活シ外出モ少ク來訪者モ殆ントナキカ  
如キ狀況ナリシト云フ、  
佛國側ノ情報供給方申越

「コンデ」ニ關シ佛國側カ初メテ情報供給ヲ求メタルハ明  
治四十年四月ニシテ爾來帝國政府ハ時々在本邦佛國大使  
館ノ希望ニ應シ其ノ動靜ニ關スル情報ヲ供給シタルカ大

正十四年山縣「ミツショーン」印度支那往訪ノ前後ニ於テ

佛國側ヨリ佛國側ニ於テハ廣東、上海等ニ於ケル不逞鮮人ニ關スル情報ヲ又我方ニ於テハ「コンデ」其ノ他本邦亡命安南革命運動者ノ動靜ニ關スル情報ヲ相互ニ交換方希望アリ爾後兩國間ニ多少情報ヲ交換セリ

次テ昭和五年四月在本邦佛國大使館附武官ハ參謀本部ニ對シ本問題ニ關シ印度支那官憲トノ間ニ情報ノ繼續的交換ヲ爲サント欲セラルニ於テハ佛國側ハ喜ンテ之ニ應スヘキコトヲ確信スル旨申出アリ

更ニ同年秋陸軍大演習陪觀ヲ兼ネ印度支那ヨリ來朝セル佛國陸軍代表印度支那第二旅團長「ドバイユール」少將ハ十一月八日幣原大臣ヲ來訪シ右情報交換ニ付兩國間ニ協定ヲ遂ケ我方ヨリハ「コンデ」ノ動靜ニ關シ情報ヲ得度キ旨申出テ之ニ對シ幣原大臣ハ右情報ハ希望ニ從ヒ供給スヘキモ之カ爲特ニ協定ヲ遂ケ若ハ相互條件ノ形式ニ依ル等ノ必要ハナカルヘク兩國政府ノ希望ニ應シテ其ノ都度情報ヲ供給シ合フコトトスレハ可ナルヘシト述ヘタル處同少將ハ之ヲ満足シテ引取りタリ

(欄外記入)

昭和七年十一月亞細亞二課ヨリ陸軍省軍事課ヘ非公式ニ手交セシモ今日ニ至ル迄回答ナシ

(付記二)

拜啓

陳者昭和八年七月十九日附谷亞細亞局長宛「ノート」ヲ以テ本邦在住印度支那人ト印度支那在住日本人及朝鮮人ニ關スル情報交換方ニ關シ御申越ノ次第有之了承致候右「ノート」中ニ於テ印度支那官憲ノ希望セラレタル「プリンス、コンデ」及同「プリンス」ノ手元ニ置キ居レリト稱セラルルニ共產主義者ノ動靜ニ關シ當方調査ノ結果ハ別添覺ノ通ニ付右ニ御了知相成度御貸與ニ係ル黎國望、斐海紹兩名ニ關スル身許調査書一通ハ茲許同封及返送候間御査收相成度候

尙上海佛國租界内ニ於ケル不逞鮮人ニ關スル情報ノ供給並同地帝國官憲ノ此等不逞鮮人ノ查察逮捕ニ付同地貴國官憲ノ示サレタル好意ハ當方ノ多トシ居ル所ニ有之此ノ機會ニ今後ニ於テモ一層ノ好意ト援助トヲ與ヘラレムコトヲ切望

### 致ス次第二候 敬具

編注 本信は仏文翻訳の上送付された。

501  
昭和7年9月16日

在上海村井總領事より  
内田外務大臣宛(電報)

話題  
「上海駐屯憲兵引揚方ニ關シ外務省側ノ意向  
開合セノ件」

上 海 9月16日後発  
本 省 9月16日後着

第一〇五一號(至急)  
貴電第三六二號ニ關シ

十二日事件大体ノ經緯ハ往電第一〇三五號(三)ノ通ナルカ詳細左ノ如シ

當地憲兵隊ニ於テハ九日ノ事件ニ依リ其計劃全然水泡ニ歸シタルヲ以テ之ヲ放棄スルコトシタルカ呂班路第十三號ノ家ハ其使用セル鮮人諜報者朴春山ヲシテ借入レシメ置タルモノニシテ家屋内ノ家具其他ノ物件ハ悉ク憲兵隊ノ出費ニ依ルノミナラス一日長引ケハ一日餘分ノ家賃ヲ支拂フコトトナリ無用ノ出費ヲ重ヌルコトナルヲ以テ其荷物ヲ引取ルト共ニ其家ヨリ移轉スル様朴春山ニ命シタリ然ル處朴ハ元來諜報者トシテノ仕事カ周圍ノ鮮人ニ知ラルコトニ付戰々競々タルモノアリ九日ノ事件後ハ殊ニ僑民團側ノ制裁ヲ惧レ始メ荷物引取ヲ肯セサリシモ憲兵隊ヨリノ命ニ

二 九月三十日付内田外務大臣より在本邦ド・ラ

ンス仏國臨時代理大使宛口上書

九月九日の上海仏國租界における日本憲兵隊による捜索活動は租界侵害なる旨の抗議について

閲する陳謝回答

三 九月二十日發陸軍省軍務局軍事課國分(新七郎)少佐より亞細亞局第二課相場理事官宛電

制裁ヲ惧レ始メ荷物引取ヲ肯セサリシモ憲兵隊ヨリノ命ニ

依リ已ムナク該家屋ニ荷物引取ノ爲赴ケル處僑民團側義警隊員李秀峯其他兩二名ノ不逞鮮人カ家ノ附近ヲ彷徨シ居ルヲ認メ恐怖シテ遂ニ接近スル能ハス手ヲ空シクシテ歸レリ茲ニ於テ憲兵隊ハ自ラ荷物引取ヲ實行スルニ決シ唯朴春山自ラ出頭セス他ノ人物五名カ現場ニ赴クコトテ家屋管理ノ支那人カ荷物ノ引渡ヲ拒絶スルコトアルヘキヲ慮リ朴ヲシテ其名刺ノ裏ニ右家屋管理人宛自分ハ目下日本官憲ニ逮捕拘禁セラレ居ルニ依リ自身荷物引取ノ爲赴ク能ハス已ムナク荷物一切ヲ此名刺所持ノ人物ニ賣却シタルニ付御了承ノ上荷物引渡相成度キ旨認メシメ之ヲ携行セシメ所屬ノ「トラツク」ニテ私服憲兵五名ヲ現場ニ送レル處九日ノ事件以後事件ノ再發ヲ防止スル意味ニテ同家屋内ニ張込みノ佛警察官ノ誰何ニ際シ其ノ疑ヒヲ釋ク意味ヲ以テ右朴ノ名刺ヲ呈示シ單ニ荷物受取りノ外他意ナキ旨百方陳辯セリ然ルニ佛警察官ハ右朴春山カ日本官憲ニ逮捕セラレタルハ佛租界内ニ於ケル憲兵ノ仕業ナルヘシト推測セルノミナラス逮捕セラレ居ル者カ荷物ノ賣渡ノ交渉ヲナス餘地アル筈ナキヲ以テ右賣渡シ云々ノ事實ハ虛偽ノ申立テナリト断シ且「トラツク」カ軍用「トラツク」ナルノ點ヨリ推シテ

タル上更ニ其ノ家宅搜查ヲ實施ノ上荷物一切ヲ押收シテ去ラントスルモノナリトノ嫌疑ヲ似テ有無ヲ云ハセス右五名ノ憲兵ヲ引捕ヘ「トラツク」ノ「ライセンス」ヲ沒收シタル上警察本部ニ引立テ去レリ憲兵隊ニ於テハ急報ニ接シ直ニ川手中尉ヲ派シテ釋明セシメタルモ佛警察ニ於テ容易ニ納得セス朴春山カ日本官憲ニ逮捕セラレ居ル事實ノ有無朴春山カ荷物一切ヲ之等五名ノ日本人ニ賣渡シタル事實ノ有無ノ二點ニ付

一<sup>(3)</sup>警察官ヲシテ當館ニ問合セ來レルト殆ト時ヲ同シウシテ川手中尉來館シ事件ノ顛末ト其絡繹リヲ述ヘ有利ナル證言ヲ求メタルカ如何ニ絡繹リトハ言ヘ全然無根ノ事實ヲ證言スル能ハサルヲ以テ館員ヨリ佛警察ニ對シテハ日本官憲力朴春山ヲ逮捕シタル事實ナキモ朴春山カ荷物ヲ賣り渡シタルハ恐ラク事實ナルヘク朴ノ名刺裏ニ逮捕云々トアルハ恐ラク朴カ自ラ出頭セサルコトニ關スル申譯的方便ナルヤニ思料スル旨答ヘタル處佛警察ハ然ラハ賣渡シ事實ノ證明ヲ公文ヲ以テ呈示スルヤ<sup>(ウカ)</sup>ヲ取計ハレ度シ然ル上ハ右荷物ノ引取リヲ認ムヘシト云ヘルニ依リ川手中尉ニ對シ賣渡シ證ノ

作成方ヲ申渡スト共ニ右佛警察官ノ言ヲ容レ置ケル趣ナリ其後正午頃ニ至リ佛國總領事本官ヲ來訪シ「九日ノ事件ニ引續キ更ニ今朝五名ノ憲兵佛租界内ニ侵入シ擅ニ鮮人ノ家宅ヲ搜查シ其ノ荷物ヲ運ヒ去ラントセルカ斯ノ如キハ佛國側トシテ到底容認シ得ル所ニアラス以後日本側ニ於テ佛國租界内ニ於テ行動セントスル時ハ必ス先ツ佛國總領事ノ承諾ヲ得タル上事ヲ運フ様セラレ度キ」旨申入レ來レリ之ニ對シ當館ニ於テハ未タ詳報ニ接セス如何ニ憲兵ト雖九日ノ事件後再ヒ違法ノ行爲ヲ敢テスルモノト思ハレス恐ラク何等ノ手違ヒ若ハ相互ノ誤解ヨリ來レルモノナルヘシ

但其ノ理由ハ孰レニシテモ斯クノ如キ不祥ノ結果ヲ看ルカ如キ行動ハ萬々面白カラサルニ付關係方面ニ就キ直ニ調査

テ佛警察本部ニ在リシ憲兵ノ身柄釋放セシムルト共ニ一方十五日附佛總領事宛本件ハ憲兵隊カ朝鮮人使用人ノ依賴ヲ受ケ荷物引取ニ赴ケルモノナルカ此ノ行動ハ誤解ヲ招キ重大ナル事態ニ導ク虞アル次第モアリ本件發生ヲ遺憾トス尙關係憲兵隊員ハ戒飭セラレ又憲兵隊ニ對シテハ本官ヨリ將來此ノ行爲ヲ繰返ササル様注意シ置ケル旨ノ公文ヲ認メ館員ヲシテ持參セシメタル處佛(總領事)ハ自分ニ關スル限ニテハ満足ナル旨述ヘ居タル由支ヘ轉報セリ

#### (付記一)

在本邦佛國代理大使口上書(譯文)

佛國政府カ接受セル情報ニ據レハ約二〇名ノ日本憲兵ハ支那服ニテ假裝シ「トラツク」ニ乗リ九月九日不意ニ上海佛租界内ニ侵入シ一朝鮮人ノ所有スル家屋内ヲ捜查シ一支那人ヲ逮捕セリ佛國警察ハ日本憲兵三名ヲ逮捕セルモ其後日本總領事ノ懇請ニ依リ之ヲ釋放シ同總領事ニ引渡セリ佛國代理大使ハ本國政府ノ訓令ニ基キ右上海佛國租界侵害ニ對シ正式ノ抗議ヲ帝國政府ニ提出スルト共ニ逮捕支那人内幕ヲ打明ケ虚心坦懐ニ交渉スヘキモノト認メル旨ヲ含メ

ノ釋放並本件犯行者ニ對スル嚴重ナル處罰方ヲ要請ス

一九三二年九月十二日

(付記二)

在本邦佛國代理大使宛内田外務大臣口上書

九月九日及同十二日上海佛國租界内ニ於ケル日本憲兵ノ行動ニ關シ今回日本帝國外務大臣ハ在上海日本總領事ヨリ詳細ノ報告ニ接シタリ

右ニ據レハ日本憲兵隊ニ於テ本年四月二十九日上海虹口公園爆彈事件ノ主謀者ニ連累ヲ有シ豫テ日本官憲ニ於テ捜査中ナリシ佛租界内居住不逞鮮人ノ巨魁三名カ九月九日正午頃同隊ノ使用人タル佛國租界呂班路十三號ノ一鮮人居宅ニ來會スルコトトナリタルヲ探知シ先ツ見張リノ爲メ私服憲兵二十名ヲ派遣スルト同時ニ日本總領事館ヨリ館員ヲ佛國總領事館ニ派遣シ其ノ同意ヲ求メタル上佛國警察官ノ協力ヲ得テ逮捕スルコトニ手筈ヲ定メタリ然ルニ該憲兵等ハ出動ノ命令ヲ受クルヤ既ニ佛國官憲ノ同意取付濟ナルヲ以テ現場ニ派遣セラルヘキ佛國警察官ト協力シテ臨機逮捕ヲ實行スヘシトノ意味ニ取違ヘタル儘現場ニ赴キ佛國警察官ノ

來着ヲ待チタルモ現場ノ事態緊急着手ヲ要シ猶豫ヲ許ササルモノアリタル爲メ遂ニ單獨行動ニ出テ該居宅内ニ來合ハセ居タル支那人ヲ關係三鮮人中ノ一名ト誤認シテ同行引上ケタルカ其ノ際佛國警察官ニ出會シ其ノ疑惑ヲ受ケテ一行中三名ハ佛國警察ニ連行セラレタルモノニシテ又同十二日日本私服憲兵五名カ前記鮮人居宅ニ赴キタルハ該鮮人カ其ノ居宅ヲ去リタル爲メ其ノ依頼ニ依リ殘留荷物ヲ引取り搬出セムトスルノ外他意ナカリシ次第ナルモ該鮮人ト憲兵隊トノ關係ヲ承服セシメ得サリシト軍用「トラック」ヲ使用シタル等ノ爲メ不必要ニ佛國官憲ノ疑惑ヲ招キ再ヒ連行セラルルニ至レルモノナルコト判明セリ

前記ノ如ク九月九日ノ事件ハ忽卒ノ際派遣憲兵カ其ノ受ケタル命令ノ意味ヲ取違ヘタルニ起因スルモノニシテ固ヨリ佛國官憲ノ權力ヲ無視シテ擅ニ警察權ヲ行使セントスルノ意圖ニ出テタルモノニ非ス又同月十二日ノ事件ハ本質的ニハ憲兵隊ノ私的行爲ニシテ何等權力行爲ニ非サル次第ナルモ其間手續ニ違漏アリ行動ニ不用意ノ點アリタルニ因リ佛國租界ノ靜謐ニ累ヲ及ホスニ至リタルモノナルヲ以テ日本總領事ハ卒直ニ其ノ非ヲ認メ九月十二日及十五日附公文ヲ

以テ佛國總領事ニ對シ夫々前記事情ヲ釋明シテ陳謝ノ意ヲ表シ佛國總領事ニ於テモ之ヲ諒トセラレタル趣ナリ

日本帝國外務大臣ハ九月十二日附在東京佛國代理大使ノ要求ニ接スルヤ直チニ在上海關係官憲ニ對シ同種事件ノ再發

防止方ニ付嚴重訓達ヲ發シタルカ日本總領事ノ報告ニ據レ

ハ九日ノ事件ニ於テ關係鮮人ト誤認セラレ日本憲兵ニ同行

セラレタル支那人ハ憲兵ノ引上ノ途中其ノ身分判明ト共ニ

即時佛國租界内ニ於テ釋放セラレ又同日ノ事件ノ主タル責

任者トシテ軍曹二名ハ處罰ヲ受ケ十二日ノ事件ニ關係セル

憲兵モ夫々戒飭セラレタル外更ニ同總領事及憲兵隊ニ於テハ將來同様ノ過失ヲ繰返ヘササル様注意スヘキ旨申合ハセ

タル趣ナリ

日本帝國外務大臣ハ佛國代理大使ニ對シ以上兩事件ノ真相

及日本側ノ執レル善後措置ヲ通報スルニ當リ兩事件ノ發生

ニ對シ茲ニ遺憾ノ意ヲ表スルト共ニ兩事件ノ發生カ日佛兩

國間ノ友好關係ニ對シ寸毫モ不幸ナル影響ヲ及ホササルヘ

キコトヲ確信シ併セテ上海ニ潛在シ日本ノ朝鮮統治ニ不斷

ノ脅威ヲ與ヘツツアル不逞鮮人ノ取締在上海佛國官憲ヨリ今後モ渝ラサル同情ト協力ヲ與ヘラレムコトヲ懇望ス

(付記三)

昭和七年九月三十日

昭和七年九月廿日午前一〇時三〇分

發話者 陸軍省軍事課員 國分少佐

受話者 亞、二、 相場理事官

上海駐屯憲兵引揚方ニ關シ外務省側ノ意向聞合セ

ノ件

(欄外記入)

上海駐屯憲兵隊ハ過般佛國租界手入ニ際シ不慮ノ不覺ヲ取リ

各方面ニ意外ノ御迷惑相懸ケ又本件ハ既ニ同地一般ニモ周

知セラレ此ノ上駐屯セシムルモ徒ラニ弊害ヲ釀スノ慮アリ

且ツ不逞鮮人逮捕ニ關スル武力行使ノ機會モ遠カニ豫測付

カサルヘク又内地方面ノ憲兵モ手薄ヲ感シ居ル關係モ有之

此ノ際現地ニ重藤大尉(現在駐屯、思想方面ノ担当者)ニ中、

少尉級一名ヲ附シテ殘留セシメ之ヲ總領事館ノ特高警察部

内ニ囑託トシテ勤務セシムルコトシ他ハ全部之ヲ引揚ケ

度其ノ在留邦人側ノ意向等モ如何カトハ存スルモ此ノ上駐

屯セシムルモ意義ヲ為サ、ルモノト思考スルニ付右様取計

ヒ度シトノ意見ニ一致シタリ

右ハ在上海陸軍武官側ヨリモ同様ノ意見具申ノ次第モアリ

此ノ際外務省ノ意向ヲ確メタル上決行シタキニ付至急貴省

上局ノ意向御確メノ上何分ノ儀御回報相成度シ 以上

(欄外記入)

外務省ハ本件陸軍省側ノ意見ハ已ムヲ得サルモノト認ムル旨  
國分少佐ニ電話スミ

九月廿一日

502 昭和7年12月1日 在上海石射總領事より  
内田外務大臣宛(電報)

### 上海仏國租界内における日本側警察官による

#### 反日朝鮮人逮捕事件について

付記一 十二月四日付在本邦ド・ラヌス仏國臨時代理

大使より内田外務大臣宛書簡

右事件への抗議

二 十二月二十七日付有田外務次官より在本邦

ド・ラヌス仏國臨時代理大使宛書簡

右抗議への回答

不逞鮮人金徹及金哲逮捕計畫ノ件

昭和七年十二月一日在上海石射總領事發内田外務大臣宛電  
報要旨

當地公使館附武官北岡大佐ハ十一月三十日午後營館警察署長ヲ訪問シ不逞鮮人幹部金徹及金哲ノ兩名ヲ策略ヲ用ヒテ支那街某所ニ誘出シ會合飲酒セシメ取押ノ手順整ヒ支那側聯絡者モ諒解シ居ルニ付領事館警察側ニ於テ身柄引取ノ爲警察官ヲ派遣シ援助セラレタキ旨申入レタルガ警察署長ハ單ニ身柄引取ノ爲ノ援助ニ過ギザルモノニシテ又場所ハ支那街ニシテ北岡武官ノ言ニ依レバ支那側公安局トハ既ニ事前ノ諒解アルモノトノ由ナリシヲ以テ極メテ簡易ナル事件ト解シ警部一名ニ警察官ヲ附シ派遣セリ右警部ハ一行ヲ率ヰテ北岡武官ノ言ノ通り陸戰隊ニ至リ勢揃ヒシタル處北岡大佐ノ使用セル「ブロウカ」相内重太郎來リ鮮人等ハ既ニ取押ノ手段整ヒ居ルニ付單ニ行キテ其ノ身柄ヲ受領シ運ビ去ルニ過ギザル次第ナレバ是非共自分ト同行セラレ度シトテ一同ヲ案内シテ目的地ニ向ヘリ一行ハ佛租界ヨリ支那

街民國路ニ出デ南行シテ一酒樓ニ至リ相内先ヅ爲念内ニ入リ續ヒテ警察官一行ヲ招ギ入レタリ然ルニ同所ニハ金徹金哲兩名ノミ對座シテ談話中ニシテ何等異狀ナキヲ以テ一同躊躇セシモ相内ハ此期ヲ逸シテハ再ビ好期ニ逢ヒ難シトテ督促急ナルモノアリシ爲勢ヒ之ニ手ヲ入レル事トナリ先ヅ金徹ヲ取押ヘ用意ノ自動車ニ搬入セリ然ルニ此時右兩名ハ大聲ヲ舉ゲテ「強盜、強盜」ト絶叫セシヲ似テ群衆靖集シ來リ殺氣立ツニ至リ自動車運轉手ハ恐レヲ爲シテ逃避セルガ爲金哲ヲ取押ヘタルニ警官ト相内ノ三名ハ遂ニ取殘サレ金哲ト格闘中急ヲ聞キテ馳付ケタル佛國警察官ノ爲ニ逮捕セラレ途中一警察官ハ隙ヲ見テ逃走セルモ結局山崎警部補ト相内重太郎ノ兩名ハ佛租界所轄霞飛路警察署ニ拘禁セラルルニ至レリ右手入ニ派遣セラレタル警部以下ノ各警察官ハ手入ノ場所ガ支那街ナルト信ジ居タルモノナル處其ノ實佛租界藍惟謫路自由里第二號ナリシ次第ナリ

本件發生ノ報告ニ接スルヤ直ニ館員ヲ霞飛路警察署ニ派シ實情ヲ調査セシメタル處山崎警部補、相内重太郎共ニ同署ニ引致セラレ居リ金哲亦連行ノ上取調ヲ受ケ居タルヲ確メタリ依テ右館員ニ於テ實情ヲ釋明シ館員放還方並ニ金哲ノ

即時引渡方ヲ要求シタルモ事件ハ全然佛國總領事ノ手ニ移レルノ故ヲ其ノ要求ニ應ゼザルヲ以テ館員ハ其ノ儘引揚ゲタリ  
十二月一日午後二時本官ハ佛國總領事「メリエ」ヲ往訪シ遺憾ノ意ヲ表シタル上右ハ我方警察官ガ情報ニ誤ラレ支那官憲ト諒解モアリ且支那街ナリト誤信シテ行ヒタルモノニシテ我方ノ善意ナルコトヲ釋明シ佛警察留置ノ鮮人ト我方警察官等ノ釋放方申入レタル處「メ」ハ前回ノ事件後幾何モ經過セザルニ復又此事アルヲ指摘シ態度强硬ニテ目下本國政府ニ請訓中ナルヲ以テ其ノ要求ニハ應ジ難キモ日本側ガ不法ニ拉致セル金徹ヲ佛國側ニ引渡スニ於テハ自己ノ責任ニ於テ直ニ我警察官等ヲ釋放スベク且右鮮人ハ引渡ヲ受ケタル後一應釋放スル筈ナル旨ヲ述べ尙責任者ノ嚴重處罰ヲ要求セリ依テ本官ハ一應引取り北岡武官等トモ協議ノ上再度「メ」ヲ往訪シ結局(本官ノ陳謝)佛國總領事ノ關係警察官ニ對スル告發(刑事訴訟ハ不可能ナルコトヲ話シタルニ委スコトニ諒解濟)金徹ト我警察官等ノ交換引渡(今夜實行ノ筈)ノ條件ニテ解決ノ事ニ話纏リ「メ」ヨリ本國政

府へハ右ニテ當地ノ關スル限り解決セリト思考スル旨電報スルコトト爲レリ「メ」ハ金哲ハ既ニ釋放シタリト語リ金徹モ交換後釋放スル旨主張シ居タルガ本官ハ右二人ハ危險人物ナルニ鑑ミ簡單釋放後何トカ更ニ佛警察側ニテ拘引セラレ度キ旨申入レタル處「メ」ハ約束ハ出來ザルモ善處スベシト答ヘタリ

## (付記一)

在本邦佛國代理大使書翰(譯文)

拜啓 陳者閣下ニ於カレテハ定メシ去ル十一月三十日上海

ニ於テ發生シタル事件ノ報ニ接セラレタル事ト存セラレ候處當日三臺ノ自動車ニ分乗シタル七名ノ日本警官ハ佛國租界内ニ侵入シ一名ノ朝鮮人ヲ逮捕シ更ニ他ノ一名ヲ捕縛セント致候佛國警官ハ直ニ干涉シ日本警官ノ二名ヲ抑留致候而シテ右逮捕セラレタル朝鮮人ノ釋放ヲ得タル後前記二名ノ日本警官ハ佛國警察官憲ヨリ抑留ヲ解カレ候尙日本總領事ハ佛國總領事ニ對シ遺憾ノ意ヲ表セラレ且責任者タル日本官吏ニ對シ相當處罰ヲナスヘキ證言ヲ與ヘラレ候

佛國政府ハ右事件ノ報道ニ接シ該事件ハ現地限りニ於テハ

本官ハ右事態ニ付閣下ノ特ニ深甚ナル注意ヲ喚起シ閣下ニ對シ遲滯ナク必要ナル指置<sup>(措カ)</sup>ヲ講セラレ以テ在上海日本警察官ノ行動ヲ嚴重ニ監督シ今後ハ佛國政府ニ於テ到底看過シ難キ此ノ種事件ノ再發ナカラシム様セシメラレム事ヲ要請致候 敬具

昭和七年十二月四日

## (付記二)

在本邦佛國代理大使宛有田次官書翰(譯文)

拜啓陳者本月四日附内田外務大臣宛貴翰ニ關シ今般同伯爵ヨリ左ノ通回答申進スヘキ旨命セラレ候

帝國外務省ニ於テハ在上海總領事館ニ對シ其ノ韓國獨立黨

一派ノ取締ニ當リテハ專ラ佛國租界官憲ノ友好的協力ヲ受クルヲ旨トシ之ト葛藤ヲ生スルカ如キ所爲ハ絶對ニ慎シムヘキ旨累次嚴達シ居リ從テ同館トシテ擅ニ佛國租界ノ行政權ヲ侵害スルカ如キ行動ニ出ツルコトハ固ヨリ有リ得ヘカラサル所ナリト確信致シ居ル次第二候

然ルニ前記貴翰御申越ノ次第アリタルニ付早速同地總領事ニ訓令シ十一月三十日事件ノ眞相ニ關スル報告ヲ徵シタル結果問題ノ朝鮮人一名ハ韓國獨立黨ノ重要幹部ニシテ豫テ同總領事館ニ於テ手配中ノ者ナリシカ偶々十一月三十日支那街一酒樓ニ於テ飲食中ナリトノ信用スヘキ筋ヨリノ諜報ニ接シタルヲ以テ同館警察ニ於テハ之ヲ檢舉スヘク直チニ十一名ノ警察官ヲ派シ案内人ニ隨ヒ佛國租界ヲ通過シテ支那街民國路ニ出テ目的地タル酒樓ニ到リ先ツ一名ヲ取押ヘタルモ逃避セル他ノ一名ヲ逮捕セムトシテ格闘中ノ警察官一名ト案内人トハ佛國租界警察官ニ逮捕セラレ所轄警察署ニ引致セラルルニ及ムテ初メテ其ノ地點カ佛國租界ニ屬シ居ルヲ認識シタルモノナルコト判明致シ候即チ日本總領事館警察署長ハ勿論派遣セラレタル警察官モ悉ク手入レノ場所カ支那街ナリト信シ行動シタモノナルコトハ以上ニ依リ

解決セラレタルモノト思料致居候ヘ共右事件ハ三ヶ月ノ期間ニ於ケル第三回目ノ事ニモアリ且閣下カ去ル九月三十日附書面ヲ以テ本官ニ與ヘラレタル保障アルニモ拘ラス在上海日本警察官カ佛國租界ノ域内ヲ侵シ以テ兩國政府間ニ維持セラレムトシツアル友好關係ニ累ラ及ス處アル厭ハシキ事件ヲ惹起スルニ至リタル事ヲ見ルハ怪訝ニ堪ヘサル所ニ有之候

本件ニ關シテハ同大臣ヨリ直チニ在上海總領事ニ對シ部下警察官ノ失態ニ因リ佛國官憲ニ迷惑ヲ掛け現下日佛兩國間ニ存在スル友好關係ニ累ラ及ホスノ虞アル結果ヲ招キタルコトヲ嚴責シテ懲々將來ヲ戒ムルノ手配ヲ講シタルカ更ニ右事件ニ於ケル責任問題ヲ考查シタル上佛國租界ニ進入セル關係警察官ハ何レモ上司ノ命ニ依リ行動シタルモノニシテ之カ責任ヲ問フヲ得サル地位ニ在ルニ鑑ミ今般外務大臣ニ於テ右警察官ノ直屬長官タル總領事及警察事務首班者ニ

名ニ對シ此種事件ノ責任者處分ニ關スル本國法制ノ命スル所ニ從ヒ十二月十日附ヲ以テ正式ニ嚴重戒飾ヲ加ヘ候以上外務大臣ノ措置ハ貴代理大使ニ於テモ充分諒トセラル所ナルヘキヲ確信スルト共ニ之ニ依リ上海佛國官憲ノ日本總領事館ニ對スル一切ノ疑惑ヲ解キ同館ノ不逞團取締ニ對シ今後共友好的協力ヲ吝マレサラムコトヲ切ニ希望致シ候右命ニ依リ貴答旁々得貴意候

敬具

一九三一年十二月廿七日

503 昭和7年12月19日 在上海石射總領事より  
内田外務大臣宛

## 仏國租界内での反日朝鮮人逮捕事件の詳細お

## よび事件後の経過について

☆ 昭和七年十二月十九日附在上海石射總領事發信内田外務大臣宛報告要旨

## 佛租界内ノ不逞鮮人手入

本件ニ關シテハ不取敢及電報置キタル通りナルガ十二月一日午後七時佛警察ヨリ當館ニ引渡アリタル北岡武官ノ使用シタル情報「ブローカー」相内重太郎其ノ他ニ就キ取調べ

タル處本件ハ北岡武官が相内ヲシテ金徹等ノ誘出逮捕計畫ヲ爲サシメタルモノニテ即チ相内ハ豫テ金哲ト懇意ナル廣東人黃展英ナル者ヲシテ佛租界藍維靄路如意里一號ニ一室ヲ借入レシメ同所ニ於テ金徹等ヲ人攫的ニ逮捕スベク計畫セルモノナリ然ルニ北岡武官ハ十一月二十七日當館警察署長ヲ來訪シ右計畫ヲ語ラズ曰ク「今晚金九以下ノ鮮人二、三名逮捕ノ手配ヲ爲シタルガ其ノ身柄ハ當館警察署マデ同行シ來ルニ付引取方可然賴ム」ト申出デタリ當署長ハ之ヲ承諾シタル後之ヲ福山、奥村兩警部ニ内示シテ金九等引渡アリタル場合ノ收監用意ヲ爲サシメタリ

然ル處北岡武官ハ十一月三十日午後五時ニ至リ署長ヲ來訪シテ曰ク曩ノ計畫ヲ變更シ今度ハ支那街民國路ナル支那料理店冠生園ニ於テ宴會ヲ催シ金徹、金哲等ニ多量ノ酒ヲ供シタル上豫メ連絡ヲ付ケ居ル公安局員ニ於テ其ノ身柄ヲ當方ノ自動車マデ搬出スル手筈トナリ居リ當方ハ陸戰隊ヨリ太田中尉ノ指揮スル兵モ出動スルコトトナリ居ルニ付其ノ身柄引取ノ爲警察官ヲ派遣セラレ度シト申出デタルヲ以テ當署長ハ右ノ如ク簡單ナル行動ト思惟シ之ヲ承諾シタルガ北岡武官ヨリ本件ハ赤木警視ニ知ラシメザル様ニトノ申出

デモアリタル趣ニテ之ヲ高等係ニ連絡セズ警察官ノ出動ニ關シテハ同日午後五時過ギ纈纈領事ニ對シ北岡武官申入れノ事實ヲ報告シ警察官ノ出動ノ承認ヲ受ケタリ

然ルニ杉村警部以下十一名出動シ陸戰隊ニ赴キタル處太田中尉ハ勿論何等關知セザルモノナルコト判明セルガ相内ニ誘導セラレ茲ニ既電ノ如キ事態トナレル次ナリ

佛總領事ニ於テハ曩ニ九月九日及十日ノ二回、佛租界ニ於ケル我憲兵ノ不法手入ニ依リ尠カラズ感情ヲ害シ居タル矢先キノコトトテ本問題ヲ特ニ重大視シ極メテ强硬ナル態度ナリシガ本官ノ率直ナル陳謝ニ依リ本信冒頭記載ノ通り諒解シタルヲ以テ十二月一日午後六時留置中ノ金徹ヲ佛總領事ニ引渡シ同時ニ山崎警部補竝ニ相内重太郎ノ身柄ハ先方ヨリ當館マデ連行引渡ヲ了セリ

佛當局ニ於テハ金哲ノ身柄ハ十一月三十日夜一應佛警察二連行シタルモ即時歸宅セシメタル由ニテ金徹モ亦當方ヨリ引渡ヲ受ケタル後直ニ釋放セルヲ以テ當方ヨリ申入レ置キタル金徹等ノ逮捕引渡ハ當分望ミ薄トナルニ至レリ

本問題ハ十二月一日ノ當地各新聞紙(漢字英字紙共)ニ一齊ニ報道セラレタル爲俄然當地外支人特ニ支那人間ニハ抗日

感情ニ絡ミテ一大「センセーション」ヲ捲キ起シタリ即チ二日以後ノ各漢字紙ノ如キハ何レモ連日大標題ヲ附シテ本問題ニ關シ當館ノ不法手入、佛當局ノ憤激抗議、本官ト佛總領事トノ折衝經過等ヲ發表シ又市政府ニ於テハ金徹等ハ既ニ中國ニ歸化(民國十八年十月五日内政部聯字第六七號歸化證書ヲ有スト)シタルモノナルヲ日本警察官ガ擅ニ逮捕セリトテ日佛當局ニ對シ嚴重抗議ヲ提出セルコト或ハ金徹ニ對スル當館取調狀況等ニ關シ故ラニ事實ヲ誇大ニ且曲歪捏造セル記事ヲ掲ゲ又金徹ノ略歷及本事件ハ前顯黃展英ノ賣國的所爲ナリ等ノ記事ヲ掲ゲ特ニ日本官憲ニ對スル侮蔑的言辭ヲ羅列シテ今回ノ事件ニ關シテハ批評ノ價值ナシトマデ論ジ居レリ

佛當局ヨリ釋放サレタル金徹等ハ何レモ一切ヲ蔡曉白辯護士ニ託シテ靜養ノ爲ト稱シ離滬シタル旨漢字紙ニ報セラレタル處調査スルニ金徹、金哲兩名ハ一時蔡辯護士ノ友人ナル城内中華路小石橋街楊某方ニ起居シタルガ十二月六日同所ヲ去リ兩名共杭州ニ赴キ其ノ後金哲ノミ當地ニ歸ヘリタルガ更ニ南京ニ赴キ居ル模様ナリ本問題ニ對シ當館謀報者聞込ニ依レバ大韓僑民團ニ於テハ政府委員長李裕弼ハ金徹

釋放直後佛總領事ヲ訪問シ英文「タイプライター」ニテ作成ノ感謝狀ヲ提出シ感謝ノ意ヲ表スルト共ニ今後ニ於ケル當地朝鮮民族運動者ノ保護方ヲ嘆願セル處佛總領事ハシテ自分トシテハ事重大ト認メ處置シタル次第ナルガ今後モ國權侵害ニ對シテハ一步モ讓ラズ嚴重ナル態度ニ出デ我租界居住民ノ保護ヲ爲ス方針ナリ云々」ト答ヘタル趣ナリ而シテ僑民團ニ於テハ早速佛租界某所ニ於テ政務委員會ヲ開キ李裕弼司會ノ下ニ（參集者不明）左記事項ノ討議ヲ爲シタリト

一、今同金徹、金哲ノ所在ヲ日本官憲ガ支那街ト信シ逮捕ニ向ヒタルハ必ズヤ支那官憲ハ日本官憲ニ買收サレ我々ノ逮捕ニ付諒解アルモノト認メラル若シ果シテ本事件ガ支那街ナリセバ今同ノ如ク釋放セラルコトナカラ新公園事件後我々ハ一時佛界ヲ危險ト目シ支那街ニ移住シ今日ニ及ビタル今同ノ逮捕事件ニ鑑ミ今後支那街ニ居住スルハ却テ危險ナリト認ム故ニ今後ハ佛總領事ノ諒解ノ次第モアルヲ以テ佛界ニ居住スルヲ安全ナリトス依テ支那街居住者ニ對シテハ佛界ニ居住スル様通知スルコト」

右ノ結果支那街ニ移轉シ居タル鮮人等ハ何レモ佛租界内ニ歸來シツツアル由ナリ

504 昭和七年12月20日 内田外務大臣より  
在上海石射總領事宛

### 仏國租界内での反日朝鮮人逮捕事件に關し總領事および警察責任者二名戒飭について

付記 昭和八年一月六日付在上海石射總領事より内田外務大臣宛報告旨

戒飭处分に対する仏國總領事の談話について

人機密第四一五號

昭和七年十二月二十日

在外務大臣伯爵 内田 康哉

在上海

石射總領事 猪太郎殿

石射總領事他二名戒飭ノ件

本年十一月三十日其館警察ニ於テ犯罪被疑朝鮮人ノ逮捕ニ際シ地域ノ判定ヲ誤リ又所轄官憲トノ連絡ヲ缺キ謀者ノ言ヲ輕信シ濫リニ警察權ヲ行使シ其ノ結果啻ニ逮捕ノ目的ヲ

達セサリシノミナラス部下警察官ヲ外國官憲ニ抑留セラルノ失態ヲ演シタル事實アリ右ニ關シ花里<sup>(貴方)</sup>其館警察署長ハ

當然爲スヘキ職務上ノ注意ヲ怠リ内ハ我警察官ノ威信ヲ失墜セシメタルノミナラス外ハ友邦トノ交誼ヲ傷ケ惹ヒテ上官ヲシテ不體裁ナル舉措ヲ執ルノ已ムナキニ至ラシメタルモノナリ又纈纈領事ハ<sup>(貴方)</sup>其館警察ノ首班トシテ花里署長ト同様本件ニ關シ其ノ地ノ複雜機微ナル國際關係ニ考慮ヲ拂ハス前記失態ヲ惹起シタルハ職務ヲ怠リタルモノトス尚貴官ノ指揮監督ノ下ニアル警察首班領事及警察署長カ前記ノ如ク濫リニ警察權ヲ行使シ信ヲ内外ニ失シタルハ畢竟貴官力總領事トシテ平素部下監督不行届ノ致ス所ナリトス仍テ各官ノ前記所爲ニ對シ嚴重戒飭シ將來斯種失態ナキ様深甚ノ注意ヲ促ス

金徹及金哲逮捕措置ニ關シ總領及<sup>(事々カ)</sup>其二<sup>(ママ)</sup>一名ノ戒飭

一月六日本官佛國總領事ヲ往訪本官ヨリ客年十一月三十日佛租界手入事件ノ責任者ニ對スル處分ニ關シ派遣警察官ニ對シテハ何レモ上司ノ命令ニ依リ行動シタルモノナルヲ以テ其ノ責任ヲ問フコトヲ得ズ但シ警察<sup>(貴方)</sup>上司ハ下命者トシテ之ガ責任ヲ問フ必要アル旨當時本省宛稟申シ置キタル處今般本省ヨリ纈纈領事及花里署長兩名ヲ嚴重戒飭シ來リタル旨ヲ述べ次デ語ヲ繼ギ意外ニモ本官迄一律嚴重戒飭セラレタリトテ十二月二十日附貴信ヲ翻譯シタルモノヲ手交シタル處佛國總領事ハ一讀ノ後貴總領事が戒飭セラレタルハ當方豫想外ノコトニシテ却テ申譯ナシ就テハ貴方誠意ノ存スル處ヲ諒トシ是ニテ此事件ヲ「クローズ」致スベシ尙序ニ申上度キハ小官ハ過去ニ於テ各任地ニ於ケル所在日本官憲ト克ク協調シ來リタルモノナルガ將來貴總領事館ノ朝鮮人不逞團ノ取締ニ關シテハ充分ナル協力ト援助ヲ吝マザルモノナリト述べ居リタリ

（付記）  
★昭和八年一月六日附在上海石射總領事發信內田外務大臣宛報告旨